

「因为」を用いる中国語原文とその日本語訳

中国語原文	日本語訳文
<p>彷徨 (原文)</p>	<p>彷徨 (訳文)</p>
<p>我<b>因为</b>常见些但愿不如所料，以为未毕竟如所料的事，却每每恰如所料的起来，所以很恐怕这事也一律。</p>	<p>これまでの経験では、そうなるのは困る、まさかそうはなるまいと思っていたことが、あいにく、その通りになってしまうようなことがよくあった<b>ので</b>、私はじつは、こんなともそういう事態になるのではないかと懸念していた。</p>
<p>那女人虽是山里人模样，然而应酬很从容，说话也能干，寒暄之后，就赔罪，说她特来叫她的儿媳回家去，<b>因为</b>开春事务忙，而家中只有老的和小的，人手不够了。</p>	<p>その女は、いかにも山家育ちらしい身なりだったが、物腰は落着いたもので、話すこともしっかりしていた。時候の挨拶を済ませると、詫言を述べて、彼女がわざわざやってきたのは息子の嫁を連れ戻すためだ、といった。春になると仕事がいそがしくなるが、家には年寄り子どもがいるつきりで、人手が足りないというのが、その理由だった。</p>
<p>只有四嫂，<b>因为</b>后来雇用的女工，大抵非懒即馋，或者馋而且懒，左右不如意，所以也还提起祥林嫂。</p>	<p>ただ叔母だけは、あとで雇った女中が、たいてい、怠けものでなければ食い意地のはった連中で、なかには食い意地がはっているうえに怠けものときているので、あれも気に入らぬ、これも気に入らぬ、<b>というわけで</b>、それからも祥林嫂のことを話題にした。</p>
<p>新正将尽，卫老婆子来拜年了，已经喝得醉醺醺的，自说<b>因为</b>回了一趟卫家山的娘家，住下几天，所以来得迟了。</p>	<p>正月が終りかけたころ、衛ばあさんが年始うかがいにやってきた。もう酒の匂をフンブンさせていた、偉家山の実家へ四、五日帰っていた<b>ので</b>、うかがうのが遅くなったと、彼女はいいわけした。</p>
<p>“可是祥林嫂真出格，听说那时实在闹得利害，大家还都说大约<b>因为</b>在念书人家做过事，所以与众不同呢。</p>	<p>「もともと、祥林嫂の場合は、ほんとに例外でしてね。あのときは、大変な騒ぎだったそうです。何しろ、読書人の家で働いていた<b>から</b>、並みのものとはちがうんだろう、という評判でしたよ。」</p>
<p>///她久已不和人们交口，<b>因为</b>阿毛的故事是早被大家厌弃了的；</p>	<p>彼女も、もう長いあいだ人々と口をきいていなかった。阿毛の物語がすっかり人々にあきられてしまった<b>から</b>であるが</p>
<p>大概是<b>因为</b>正在下午的缘故罢，这会说是酒楼，却毫无酒楼气，我已经喝下三杯酒去了，而我以外还是四张空板桌。</p>	<p>「おそらく、昼下がりの<b>せい</b>であろうか、ここは酒楼といっても、それらしい雰囲気はなく、私が三杯目を飲みほしてしまっても、ほかの四つのテーブルは空いたままだった。」</p>
<p>我想，这回定是酒客了，<b>因为</b>听得那脚步声比堂倌的要缓得多。</p>	<p>と、こんどは客にちがいないと思われる足音がきこえた。<b>というのは</b>、それはボーイの足音よりゆったりとしていた<b>から</b>である。</p>
<p>“就在前天，我在城里买了一口小棺材，——<b>因为</b>我豫料那地下的应该早已朽烂了，</p>	<p>「ところで、おとこのことだ、城内で小さな棺を買って——<b>というのは</b>、墓地に埋めたやつはとくに腐っているにちがいないと思った<b>から</b>だ。」</p>
<p>他有一个女儿叫阿顺，你那时到我家里来，也许见过的，但你一定没有留心，<b>因为</b>那时她还小。</p>	<p>彼には阿順という娘がいた。君もあの頃、僕の家にきたときに、見ているかもしれないが、たぶん、覚えちゃいまい。なにしろ、まだ小さかった<b>からね</b>。</p>
<p>然而我毫不抱怨，<b>因为</b>她过来收拾空碗时候的忍着的得意的笑容，已足够赔偿我的苦痛而有余了。</p>	<p>でも僕は、うらめしくはなかった。彼女が空の碗をさげにきたときの得意さをかくしきれない笑顔のみただけで、僕の苦痛は十二分に償われた<b>からね</b>。</p>
<p>“我先前并不知道她曾经为了一朵剪绒花挨打，但<b>因为</b>母亲一提起，便也记得了养麦粉的事，……”</p>	<p>「僕は彼女が、ピロードの花リボンのためにぶたれたって話は、それまで知らなかったんだが、母からその話をきいているうちに、ソバがきの一件も思い出したんだ。……」</p>
<p>“……投稿的地方，先定为幸福月报社，<b>因为</b>润笔似乎比较的丰。</p>	<p>「……投稿先は、すでに幸福月報社ときめていた。原稿料が割にいい<b>から</b>である。」</p>
<p>但<b>因为</b>都从小生长在幸福里，所以不爱俄国的小说……。</p>	<p>だが小さい時分から幸福のうちに育った<b>ので</b>、ロシアの小説は好まない……</p>
<p>“他不能自制的只想回过头去看，<b>因为</b>他觉得背后很热闹，有人来来往往的走了两三次。”</p>	<p>「自制できないほど、彼は後をふり返って見たくてならなかった。<b>というのは</b>、背後でひどく騒がしい、誰かが二度も三度も行き来しているような物音がした<b>から</b>だ。」</p>
<p>他腰骨笔直了，<b>因为</b>他根据经验，知道这一声“拍”是主妇的手掌打在他们的女儿的头上的声音。</p>	<p>彼の腰骨はピンと硬直した。経験によって、この「ピシリ」は主婦の掌が彼らの三つになる女の子の頭をぶつた音であることを知っている<b>から</b>だ。</p>
<p>“这真是什么话？你们女人……”四铭支吾着，脸上也像学程练了八卦拳之后似的流出油汗来，但大约大半也<b>因为</b>吃了太热的饭。</p>	<p>「いったい、何の話だ？お前たち女というものは……」四銘は、しどろもどろになって、学程が八卦拳を練習したあとのように、顔から油汗を流した。もともと、半分はあまり熱い飯を食べた<b>せい</b>であろうが。</p>
<p>短的发上粘着两片稻草叶，那该是孩子暗暗地从背后给他放上去的，<b>因为</b>他们向他头上一看之后，就都缩了颈子，笑着将舌头很快地一伸。</p>	<p>短い髪に、ワラ屑が二本くっついていて、それは、子どもが背後から忍び寄ってつけたものにちがいない。なぜなら、子どもたちは、彼の頭に目をやっては、首をすくめて、笑いがからすばやく舌を出してみせた<b>から</b>。</p>
<p>只<b>因为</b>关了几天门，孩子们不能进去玩，便觉得这一天在院子里格外玩得有趣，吃过了晚饭，还有几个跑到庙里去游戏，猜谜。</p>	<p>ただ、この数日、門が閉めきってあって、中で遊べなかった<b>ため</b>、子どもたちには、この日、境内で遊べるのがことさらにおもしろいらしく、晩飯がすんだ後でも、廟のなかで駆けっこしたり、謎々遊びをしたりする者が数人いた。</p>
<p>秃头不高兴了，<b>因为</b>他先觉得背后有些不太平，接着耳朵边就有唧咕唧咕的声响。</p>	<p>禿頭はおもしろくなかった。<b>というのは</b>、さっきから彼は、背後で何かか穏やかでない気配を感じていて、つづいてこんどは、耳のあたりでムシャムシャいう音がきこえた<b>から</b>である。</p>
<p>抱着小孩的老妈子<b>因为</b>在骚扰时四顾，没有留意，头上梳着的喜鹊尾巴似的“苏州俏”[5]便碰了站在旁边的车夫的鼻梁。</p>	<p>子どもを抱いた女が、いまの騒ぎにキョロキョロして、うっかり頭に結ってあるカササギの尻尾に似た「蘇州まげ」を、かたわらに立っていた車夫の鼻の頭にぶつけてしまったのである。</p>
<p>一只手同时从他背后弯过来，一拨他的下巴。但他并不动，<b>因为</b>从声音和举动上，便知道是暗暗[足辟]进来的打牌的老朋友黄三。</p>	<p>声とともに一本の手が、背後からニュツと出て、彼の下顎をはじた。だが彼は、身動きもしなかった。<b>というのは</b>、声と挙動によって、それがこっそり忍びこんできた麻雀友だちの黄三だとわかった<b>から</b>である。</p>
<p><b>因为</b>黄三毁谤了学校，又看手表上已经两点半，离上课时间只有半点了，所以他有些气忿，又很露出焦躁的神情。</p>	<p>黄三が学校の悪口をいうところへきて、腕時計を見るともう二時半で、授業時間まであと半時間しかない<b>ものだから</b>、彼ははきさかムカムカして、露骨にいらだたしい表情を見せた。</p>
<p>但高老夫子却不很能发表什么崇论宏议，<b>因为</b>他的豫备——东晋之兴亡——本没有十分足，此刻又并不足的几分也有些忘却了。</p>	<p>だが高先生としては、とても高論卓説を発表するわけにはいかなかった。<b>というのは</b>、もともと準備——東晋興亡——が十分でなかったところへきて、その十分でない部分まで忘れざみであった<b>から</b>である。</p>
<p>他大吃一惊，至于连《中国历史教科书》也失手落在地上了，<b>因为</b>脑壳上突然遭了什么东西的一击。</p>	<p>あっと驚いたときには、『中国歴史教科書』までとり落としていた。突然、何かで頭を一撃された<b>から</b>である。</p>
<p>那时听说连蔓的祖母就染了病，<b>因为</b>是老年，所以很沉重；</p>	<p>その矢先に、連蔓の祖母が感染したという話をきいた。老人のことゆえ、症状は重いということだった。</p>
<p>但<b>因为</b>他没有家小，家中究竟非常寂寞，这大概也就是大家所谓异样一端罢。</p>	<p>ただ、連蔓には妻子がいない<b>ので</b>、家のなかはひじょうにひっそりしている。こういうことも、彼が人々から異分子に見られる原因のひとつであったのだろう。</p>
<p>寿材寿衣早已做成，都无须筹画；他们的第一问题是在怎样对付这“承重孙”[2]，<b>因为</b>逆料他关于一切丧葬仪式，是一定要改变新花样的。</p>	<p>棺や経帷子は、もうととのっていたから、支度の必要はない。彼らの第一の重大問題は、この「後継ぎの孫」にどう対処するか、ということだった。<b>というのは</b>、この男はきつと、葬式のしきたりすべてを新式に改めるにちがいない、と予想された<b>から</b>だ。</p>
<p>恐怕大半也还是<b>因为</b>好奇心，我归途中经过他家的门口，便又顺便去吊慰。</p>	<p>おそらく大半は好奇心からか、私は、帰途彼の家の門前を通りかかったとき、ついでに弔問に立ちよってみた。</p>
<p>我很想问他何以至今还是单身，但<b>因为</b>不很熟，终于不好开口。</p>	<p>よほど私は、なぜ彼がいまだに独身なのか、聞いてみようかと思ったが、またよく知り合っていない<b>ので</b>、けっきょく聞かずじまいだった。</p>
<p>“不。如果孩子中没有坏根苗，大起来怎么会有坏花果？譬如一粒种子，正<b>因为</b>内中本含有枝叶花果的胚，长大时才能够发出这些东西来。何尝不是无端……。”</p>	<p>「いや、もし子どもに悪の根がないとすれば、成長してから悪の花実がなるはずがない。たとえば、一粒の種が、その内部に枝や葉や、花や、実になる胚子をはじめから含まれている<b>から</b>こそ、成長したときに、それらのものが発生してくるのだ。もことになるものがなくて、どうして……」</p>
<p>我<b>因为</b>闲着无事，便也如大人先生们一下野，就要吃素谈禅[5]一样，正在看佛经。</p>	<p>私は、当時ぶらぶらしていた<b>ものだから</b>、おえらがたが下野すると枯れた境地にひたろうとするように、仏典を讀んでいた。</p>
<p>“我父亲死去之后，<b>因为</b>夺我屋子，要我在笔据上画花押，我大哭着的时候，他们也是这样热心地围着使唤来劝我……。”</p>	<p>「おやじが死んでからというもの、ぼくの家を取りあげる<b>ため</b>、ぼくに証文に判をつかせたいばかりに、ぼくが泣いたときでも、あんなふうにとりまいて、熱心に慰めただけさ……」</p>
<p>其实，这也是向来如此的，不过<b>因为</b>我希望着自己认识的人能够幸免，所以就以为兀突罢了，S城人倒并非这一回特别恶。</p>	<p>もともと、これもむかしからそうだった。ただ私は、自分の知り合いがそうした目にあわないように望む気持があつて、それで唐突だと感じただけのことで、S市の人間が、今回にかぎってとくに悪質だったわけではない。</p>
<p>有一天，我路过大街，偶然在旧书摊前停留，却不禁使我觉到震惊，<b>因为</b>在那里陈列着的一部汲古阁初印本《史记索隐》[6]，正是连蔓的书。</p>	<p>ある日、私は表通りを歩いていて、ふと古本屋の陳列棚の前で足をとめたのだが、そのとき、思わず私は身ふるした。そこに陳列してある汲古閣初印本の『史記索隱』は、まさしく連蔓の書物だった<b>から</b>である。</p>
<p>“我的话还没有完哩。你对于我们，偶而来访问你的我们，也以为<b>因为</b>闲着无事，所以来你这里，将你当作消遣的资料罢？”</p>	<p>「いや、最後まで聞きたまえ。君は、ぼくたちのことを、たまに君を訪ねてくるぼくたちのことを、ひまでやることがない<b>から</b>、君のところへきて、君を退屈しのぎのだしに使っていると使っていると使っているのだから」</p>
<p>“你的和我交往，我想，还正<b>因为</b>那时的哭哩。”</p>	<p>「君がぼくとつきあうようになったのは、思うに、あのときぼくが泣いた<b>せい</b>だろう。……」</p>

中国語原文	日本語訳文
我打听连夜的病症，她却不大清楚，只说大约是早已瘦了下去的罢，可是谁也没理睬， <b>因为</b> 他总是高高兴的。	この話題になると、彼女はよくわからない様子だったが、あましこんなことをしゃべった。彼は、かなり前から痩せ細っていたらしかったが、だれも気にかけなかった。 <b>というのは</b> 、彼はいつでも陽気にふるまっていたから。
这事我知道得很清楚， <b>因为</b> 她爱我，是这样地热烈，这样地纯真。	僕にはそのことがはっきりわかっていた。 <b>なぜなら</b> 、彼女の僕に対する愛は、それほど熱烈で、それほど純粋であったのだ。
其实这在我不能算是一个打击， <b>因为</b> 我早就决定，	だが僕にとって、これは大した打撃とは言えなかった。 <b>というのは</b> 、僕はとつくに腹をきめていたのだ。
菜冷，是无妨的，然而竟不够；有时连饭也不够，虽然我 <b>因为</b> 终日坐在家用膳，饭量已经比先前要减少得多。	料理の冷めているのはかまわないが、量が足りないのだ。ときには飯さえ足りなかった。僕は終日家において頭を使う仕事をしているため、飯の量は以前よりはずっと減っているはずであるにもかかわらず。
可是其实都很瘦， <b>因为</b> 它们早已每日只能得到几粒高粱了。	もっとも実をいうと、どれも痩せ衰えていた。それは鶏たちがかなり前から毎日ほんのちよっぴりしか高粱を身えてもらえなかったからである。
其实，我一个人，是容易生活的，虽然 <b>因为</b> 骄傲，向来不与世交来往，迁居以后，也疏远了所有旧识的人，然而只要能远走高飞，生路还宽广得很。	それにしても、僕一人なら、何も生活に困ることはないのだ。傲慢のために、もともと親類縁者とはつきあわず、引越してからは、すべての旧知とも疎遠になってしまったけれども、どこか遠くへ高飛びさえすれば、生きる道はまだ広いのである。
道路上容易遇见熟人，得到轻蔑的一瞥，但此地却决无那样的横祸， <b>因为</b> 他们是永远围在别的铁炉旁，或者靠在自家的白炉边的。	往来ではたかく知人に会会い、軽蔑的な一瞥を受けやすいが、ここではけっしてそんな思いがけない災難はなかった。 <b>なぜなら</b> 、彼らはいつでも、別の鉄ストーブを囲んでいるか、または自宅のブリキのストーブに当たっているのだから。
大概 <b>因为</b> 衣服的破旧罢了，一登门便遭门房的白眼。	多分、見すばらしい身なりのためだろう、門を叩くなり、門番から白眼で見られた。
新的生路还很多，我必须跨进去， <b>因为</b> 我还活着。	新生への道はまだいくらかもある。僕は踏みこんで行かなければならぬ。とにかくまだ生きているのだから。
月生便知道他很着急， <b>因为</b> 向来知道他虽然相信西医，而进款不多，平时也节省，现在却请的是这里第一个有名而价贵的医生。	月生は、彼が非常にあわていていると思った。 <b>なぜなら</b> 、かねて彼が西洋医を信頼していることは知っていたが、収入も少ないし、ふだん儉約もしているほどなのに、いま押込んでいるのが当地でも有名な、しかも料金の高い医者であるからである。
他走进他兄弟的卧室，觉得心跳得更厉害， <b>因为</b> 他脸上似乎见得通红了，而且发喘。	彼は弟の寝室にはいつて行った。胸がいつそうはげしく動悸した。弟の顔が前より赤くなり、しかも、息をゼーゼーやっているように見えたからである。
他将钱和药方交给跟着进来的伙计，叫他明天一早到美亚药房去买药， <b>因为</b> 这药房是普大夫指定的，说惟独这一家的药品最可靠。	彼は、金と処方箋を、後からはいつて来たボーイに渡し、明朝早く美亜薬房へ薬を買いに行くように言いつけた。 <b>というのは</b> 、その薬屋はブライス先生の指定したもので、この店の薬だけがもっとも信頼できるといふことだったからである。
他 <b>因为</b> 这些梦迹的袭击，怕得想站起来，走出房去，但终于没有动。	こうした夢のなごりに襲われて、彼はこわくなり、立ちあがって部屋を出て行こうとしたが、とうとう動けなかった。
“不上城，”木公公有些颓唐似的，但 <b>因为</b> 紫褐色脸上原有许多皱纹，所以倒也看不出什么大变化。 “水银浸”周围即刻聚集了几个头，一个自然是慰老爷；还有几位少爷们， <b>因为</b> 被威光压得像瘪臭虫了，爱姑先前竟没有见。	「町じゃない」木公公はウンザリした様子をしてみせたが、赤銅色の顔に皺がたくさん刻まれているため、べつに大した変化も見られなかった。 「水銀浸」のまわりにたちまちいくつもの頭が集った。一人はむろん慰旦那だった。ほかにも若旦那たちが何人かいたが、威光に圧倒されて南京虫みたいにゴソソソしていて、それまで愛姑の眼にはとまらなかったのだ。
她打了一个寒噤，连忙住口， <b>因为</b> 她看见七大人忽然两眼向上一翻，圆脸一仰，	彼女はブルッと身ぶるいして、あわてて口を閉じた。不意に七大人が上眼を使い、丸い顔をのけぞらせたからである。
青春之歌 (原文)	青春の歌 (訳文)
///祖父 <b>因为</b> 年老多病需要孙女的照顾，也不愿意孙女离开他，于是祖孙俩就相依为命地活下来。	///病身の祖父も、孫娘がじぶんの手もとを離れるのを望まず、このためにふたりは、互いに身をよせあうようにして、暮らしてきたのだった。祖父は孫娘を愛し、娘のどつき先から、いくつものやわらかい餅子や、塩漬玉子などがどけられたときなど、じぶんはちよっと味をみるだけで、いつも孫娘に残しておくのだった。
徐凤英看在秀妮有孕的份上，开始对她还不错， <b>因为</b> 徐凤英自己生过几个孩子，一个也没活，所以就希望秀妮替林家生个孩子。	徐鳳英は秀■が身ごもっていることもあって、最初のころは、そんなにひどい扱いはしなかった。 <b>なぜなら</b> 、この正夫人は、かつてなにか子を産んだのが、みな夭折したので、秀■が林家のために、世つぎを生んでくれることを望んでいたからである。
可是徐凤英并不注意这些，她注意的是这女孩子的相貌的变化，和如何使她具有一定的学历， <b>因为</b> 这是那个时代的时慧妇女要嫁一个有钱有势的丈夫所必备的条件。	徐鳳英にとっては、そんなことはどうでもよかった、かの娘が重視したのは、この娘の容貌の変化と、どうやって一定の学歴を身につけさせるか、ということだけだった。 <b>なぜなら</b> 、それは当時、時代の先端をゆく女性たちが、地位とかねのある夫を獲得する必須条件だからだった。
///可是表面上她却依然对一切都漠漠，依旧沉默寡言。同学中，她只和一个名叫陈蔚如的女孩子要好， <b>因为</b> 那女孩子对她温存、和善，她同情林道静的不幸遭遇，给她热情和鼓舞，因此她们成了好朋友。	///だが、表面から見ると、あいも変わらず、すべてに対して冷淡で、口かずも多くなかった。クラスメートの中で、ただひとりの仲良しは、陳蔚如だった。この娘は林道静をあたたかく迎えてくれ、性格もやさしく、林道静の不幸な運命に同情して、いつもはげましてくれていたから。こうして、ふたりはすっかり親友になった。
“家里破产啦——我父亲 <b>因为</b> 地权的事打了官司，闹得身败名裂，就把口外的地——古脑儿瞒着母亲全卖光，带着姨太太偷跑掉了。……” <b>因为</b> 不是徐凤英生的，所以受折磨。 小孩吐出了奶头，哇的一声哭得更凶了。显然 <b>因为</b> 瘦弱的母亲没有奶水，饥饿折磨着这像小柴根一样的孩子。	「うちが破産してしまったの——父は土地の権利のことで裁判してたんだけれど、敗訴になって、財産も名誉もいどきに失ってしまったのよ。それで母に内緒で、長城の外側の土地をぜんぶ売り払うと、妾を連れて夜逃げしてしまったの。……」 徐鳳英の腹を痛めたのではないから、いじめられるのだと思っていた。 乳首を離した赤ん坊は、いつそうはげしく泣きだした。骨と皮ばかりに痩せこけた赤ん坊は、飢えきっている。
从此，在海滩上，她常常看见那个青年学生的踪迹，有时他走近她身边想跟她讲话，可是，也许 <b>因为</b> 她那冷冷的神情，他没有张口，慢慢地又走远了去。	それからのちも、かの女はその若い学生のすがたを、よく見かけるようになった。かれは、ときには近くまで来て、なにが話しかけたいそぶりを見せるのだが、かの女のあの氷のような表情のためか、口をきかず、のろのろとちよっぴり去っていくのだった。
一阵嘻嘻哈哈的笑声，随着这喊声一块儿送到道静的耳边。她明白了这是在喊她、在取笑她。 <b>因为</b> 在附近除了她穿着白衣，没有第二个女人。	つついて、わっという笑声が、道静の耳に聞えてきた。わたしにしているんだ、わたしをからかっているんだ、この付近に白い服をきているのは、このわたし以外にないもの。
……报告你好消息：你已经考上师大了，而且成绩很不错。可是也有不好的消息：你妈妈 <b>因为</b> 花了姓胡的许多钱，她找不到你，没法应付姓胡的，听说已经躲起来了。所以，小林，你能够回北平来么？我看你先不要回来吧！……	……よいニュースをお知らせするわ。あなたは師範大学の入試に合格したのよ。しかもとてもよい成績で。だけど悪いニュースもあるの。あなたのおかあさんは、胡とかいう人のお金をたくさん使ったあげく、あなたを見つけることができないため、胡に会わせる顔がなくなって、行方くらまされてしまったそうよ。だから、林さん、あなた、北平へ帰って来る？わたしは、さしあたり帰って来ないほうがいいと思うけど……
<b>因为</b> 时间还早，他们就在车站外面的一片空地上并肩漫步着。 学生们告诉林道静：她表哥张文清就是 <b>因为</b> 不满意余敬唐干涉教员的自由，而被余敬唐解雇走了的。 <b>因为</b> 乡村邮局好几天才送一封信，所以邮差不来便要，一来就有她一搭子信。	まだ時間があるので、停車場の外の空道を散歩した。 生徒たちの話では、従兄の張文清は、余敬唐が教師の自由を干渉するのに不満をもったため、首を切られたということだった。 田舎の郵便局では、四、五日おきにまとめて一度に配達するので、配達夫が来ない日はともかく、来る日もなれば、かの女あての手紙が山と積まれている。母親が病氣なので、見舞いに帰省したついでに、姉に会いに来ているんです。……
<b>因为</b> 我岳母病了，他回家探母顺便来看他姐姐。	余永沢からきた手紙で、道静は、北京大学の学生は政府の無抵抗主義と、錦州を中立地域にすることに反対のため、多くの学生がそろって、南京へ請願デモに出かけたことを知っていた。
在余永泽给她的来信中，她知道了北京大学的学生 <b>因为</b> 反对政府的抵抗主义，反对把锦州划为中立区，许多同学都到南京请愿示威去了。	手紙によると、余永沢もいきかかったのだが、とつぜんの風邪で、いけなくなったということだった。
余永泽说，他本来也想去， <b>因为</b> 突然患感冒没有去成。	寒かったけれど、ぼやつとしている頭を、冷たい風にあてたかったのだ。
<b>因为</b> 头脑昏胀，身上虽然冷，可是脑子却想用凉风吹一吹。 原来的这两个人都是南京中央大学的同学，“九一八”后， <b>因为</b> 奔走爱国运动，被押在这卫成司令部的监牢里已经两个多月了。 “不，发封信去。” <b>因为</b> 道静已挨晓燕说了许多次，所以这次决心瞒住她。	このふたりは、南京中央大学の学生で、「九一八」のあと、愛国運動に奔走したので、この衛成司令部の監房に、もうニカ月も、とじこめられているのだった。「ううん、ちよっと、手紙だしに」+++曉燕から、これまでもなんども忠告されているので、かの女は相手をだまそうと思ったのだ。 だが、相手は有名な学生だし、こっちは貧乏学生だ。ちよっと、じかには訪ねていきにくい。きみのおおじさんは、かれとしたいし、それできみに頼んで……」 「国民党はその仮面をかながら棄て、すごい弾圧に出てきた。われわれ学生の救国運動も、当面は低調にならざるをえないさ。……」
可是，他是名学者，咱是个穷学生，不好意思直接找他。 <b>因为</b> 你父亲和他熟，所以我想托你……” <b>因为</b> 国民党撕破了它的假面具，镇压得很凶，咱们学生救国运动目前不能不暂时沉默一些。	「……李孟瑜はあのかの総指揮者だったろう。だから学校へ戻ってからも、憲兵先生がうるさくつきまとい、しかたがないので、どこかへ行方をくらましているんだ」
李孟瑜就 <b>因为</b> 那次做了总指挥，回校后，宪兵先生总光顾他，他不得已，不知跑到哪儿去了。”	///「仕事の口が見つからなくて、むしゃくしゃしてるもんだから、いつもぼくに当たるのさ。……」
///“她 <b>因为</b> 找不到工作，无处泄愤，就常常找我出气。	

中国語原文	日本語訳文
<p>道静生活在这个这么狭窄的小天地里（因为她是秘密同居，她不愿去见早先的朋友，甚至连王晓燕都渐渐疏远了），</p>	<p>道静はあまりにも、狭い天地に暮らしていた。人目をしのお同棲生活だったので、かの女は昔の友だちに会いにいづく気にもなれず、王晓燕とさえ、しだいに疎遠になっていった。</p>
<p>因为“九一八”后，东北学生和家断了联系，在这除夕的年夜里，她就约了几个同乡、同学和朋友到她的公寓来过年。</p>	<p>「九一八」が起こって以後、東北出身の学生たちは、日本軍のために、みな家庭との連絡を断られていた。そこで、この年の瀬の夜、かの女は同郷人やクラスメートや友人を下宿に招き、忘年会をもよおしたのである。</p>
<p>因为余敬唐的缘故，她不愿意回去，因此一个人留在公寓里，这才参加了这群流浪者的年夜饭聚会。</p>	<p>余敬唐がいるため、かの女はいきたくなかった。それでひとりで、このおわひし下宿に残っていたのだが、おかげでかれら故郷を失った「流浪者」の一群と、年越しの一夜をすごすことができたのだ。</p>
<p>钱少了，她每天只能买点棒子面蒸几个窝头吃。懒得弄菜，窝头不大好吃，可是因为捧着书本全神贯注在这上面，一个窝头不知不觉就吃完了。</p>	<p>手持ちの金が心細くなると、かの女は毎日とうもろこしの粉を買い、それでいくつか蒸しパンをつくって食べた。お菜をつくるのは面倒だし、とうもろこしのパンは、どうにもおいしいとはいえなかったが、本に夢中になっていると、ひとつの蒸しパンを、いつのまにか食べてしまっていた。</p>
<p>因为要追这个打了区长的人，这伙子警察也顾不得去捉别的人。</p>	<p>区長をひどいめにあわせた女をつかまえてはと、警官隊も他の者には目もくれなかった。</p>
<p>关于林道静，他没有进行任何辩白，因为他认为这是毫无意义的。</p>	<p>林道静については、かれは、なんらの弁明もしなかった。なぜなら、そんな事でやりあうのは、まったく無意味だと思ったからだ。</p>
<p>因为是胜利地跑到了目的地，就又表现了一种衷心的喜悦和爽快。</p>	<p>勝利のうちにゴールインしたので、心からの喜びと、安堵感をあらわしているのだ。</p>
<p>因为高兴，他反倒不开玩笑，他向卢嘉川询问察北抗日同盟军的情况，他们谈起了当时的战争形势。</p>	<p>あまりに嬉しかったので、いつもの冗談も出でこなかった。かれは芦嘉川に、察北抗日同盟軍の状況をたずね、戦況を話しあった。</p>
<p>许宁想送他们，但是因为害羞，他走到西直门又返回来了。</p>	<p>許寧は見送りたいと思ったが、西直門までいったものの、恥ずかしくて、また戻ってきてしまった。</p>
<p>他在宿舍的床上躺了一天，傍晚，因为记挂着母亲，他又无精打采地走回家去。</p>	<p>かれは宿舍のベッドで、一日中ごろごろしていたが、夕方になると、やはり母親のことが気がかりで、浮かぬ顔をして家へ帰ってきた。</p>
<p>……因为这些天侦探盯的紧——刚才我才甩掉一条尾巴，跑到你这里。”</p>	<p>……このところ、ぼくはスパイにつけまわされている——いまも、イヌを一匹まいて、きみの所にとびこんできたんだ。</p>
<p>看着、看着，还没容他张嘴——实在，他很难张嘴。因为按他这时怒火，他要破口大骂。</p>	<p>そうやって、どれだけのあいだ、にらみつけていたことか、そして、まだ口もひらかぬまゝに——実際のところ、かれはどうやって口をひらいたらいいのか、迷っていたのだ。今のこの怒りの性格からいえば、相手に出会った瞬間に、大声あげてどなりつけるべきだった。</p>
<p>显然，因为等她，他也没有睡觉。</p>	<p>あきらかに、かの女をまって、眠らないでいるのだ。</p>
<p>他知道敌人如果真正得到了他们的名单，便不会再同他这么费劲了，正因为不知道，所以他说“知道了”。</p>	<p>敵がもし、ほんとうにリストを握っているなら、こんなにやっきになるはずはない、知らないからこそ、知っているとはざくろ。</p>
<p>因为这次是在黎明前去的，夜里巡逻的警察已经疲惫了，因此，她顺利地散完了她准备散的宣传品，安然地走回家里来。</p>	<p>こんどは夜明けまえだったので、パトロールの警官はひとりの疲れで寝ていた。だから、用意しておいたピラを、順調に貼り終えて、ゆうゆうと家へ戻ってくるのができた。</p>
<p>卢嘉川在最后一次见面时就告诉她，因为出了叛徒，许多同志才被捕的，这样一想，她觉得戴愉有许多行迹可疑。</p>	<p>芦嘉川と最後に会ったとき、裏切者がいたために、多くの同志がかまされたのだといわれた。こう考えてみると、戴愉の挙動のかずかずに、疑いの念が湧いてきた。</p>
<p>戴愉坐下后点着烟卷，盯住道静看了一会，才开口。——因为他一向是这样，所以道静也没有理睬。</p>	<p>戴愉は、腰をおろすと、煙草に火をつけ、しばらく道静の顔を見すえていたが、やがて口をひらいた。——これはかれの癖なので、道静は気にとめなかった。</p>
<p>她被被捕经过和胡梦安的纠缠简单地讲了一下，因为惦记着晚上的七点钟，所以她没有心绪和他多谈。</p>	<p>かの女は、つかまった経過と、胡夢安にまといつかれている現状を、かいつまんで話した。今晚、七時の脱出のことが心を占めているので、長話をする気にはなれなかったのだ。</p>
<p>当时高阳、博野、蠡县、完县、深泽、饶阳、定县、安国一带的广大农民，因为忍受不了地主高利贷者和苛捐杂税的压榨，以及农村经济的急剧破产，在党的领导下，正连续不断地秘密酝酿着反抗和暴动。</p>	<p>当時、高陽、博野、蠡県、完県、深沢、饒陽、定県、安国一帯の広はん農民は、地主、高利貸と、重税の搾取に耐えかね、同時に農村経済の急激な破壊にあつて、党の指導下で、秘密のうちに、たてつけに反抗と暴動の気運を、かもしつてあつた。</p>
<p>“这么一来，看吧，准得糟糕！我们因为团结了校长和其他教职员，孤立了伍雨田，这才能够站住脚，工作才有了开展。要是打倒校长，那、那我们怎么能够再呆下去呢？”</p>	<p>「そんなこととしてごらんさい、失敗するにきまつてるわ！わたしたちは、校長やその他の教職員と団結し、伍雨田を孤立させてこそ、しっかりと足場が固められるのだし、運動が発展するのよ。校長を打倒したりしたら、これから先どうして、ここに留っていられると思う？」</p>
<p>因为他讨厌王彦文一套庸俗的、拉拉扯扯的作风，又看到她一些毛病，于是坚决主张打倒她和伍雨田两个人。</p>	<p>かれは王彦文の俗っぽさ、一部の教職員をろうらくするやり口を嫌っていたし、なにかうしろめたい事をやっているのも、いくらか見ぬいていた。そこでかの女と伍雨田のふたりを打倒することを、断固として主張したのだ。</p>
<p>道静也高兴起来。但她的高兴与其说是因为斗争的胜利，还不如说是因为看见他们平安回来了更合适。</p>	<p>道静も嬉しくなった。だが、かの女が嬉しくなったのは、闘争の勝利のためというよりも、かれらが無事に帰ってきたからだというほうが、より当りていた。</p>
<p>因为和刘秀英的母亲谈得来，觉得这个女人一定会慷慨地帮助她，所以在这个紧急的夜晚，她逃到了刘家。</p>	<p>劉秀英の母親と話ができる、きっと心よく手を貸してくれるだろう、そう考えたから、この緊迫した夜に、かの女は劉秀英の家へ逃がれたのだ。</p>
<p>道静正坐在里间屋的炕上写东西，一见这个陌生的老太太进来了，她心里有些不舒服，因为她是偷偷藏在刘家的。</p>	<p>ちょうどオンドルの上で、書きものをしていた道静は、この見知らぬ老婦人がはいて来たのを見て、ちょっといやな気がした。こっそり劉家に身を隠している境遇だったからだ。</p>
<p>她忽然觉得自己身上很脏很臭，同时，又觉得十分委屈。因为这又脏又臭的衣服，并不是她要穿，而是那个地主家庭给她穿上的。</p>	<p>じぶんの身体の汚れと臭みを、いまさらのように思い知らされると同時に、内心ではかなり不満だった。というのは、その汚れた臭い服は、決して、じぶんから望んできこんだものではなくて、地主という家庭が、かの女にさせたのだから。</p>
<p>过去她恨林伯唐、恨徐凤英，那是因为他们对她不好；对她的生母秀妮不好。</p>	<p>これまでかの女が、林伯唐や徐鳳英を恨んでいたのは、かれらがじぶんに対して、つらくあたり、生みの母親の秀■を、みじめな死に追いやったからだった。</p>
<p>——幸好对面屋里的陈大娘这两天因为文台的母亲生了病，天还不亮就进正院去了，所以道静和姑母说话很方便。</p>	<p>具合のいいことに、まえの部屋に陳ばあやば、ここ二、三日、文台の母親が病氣なので、夜のあけぬうちから、本屋敷のほうにいつてしまっていて、道静とおばさんが、話しあうには好都合だった。</p>
<p>因为明白了真相，道静的心立刻安静下来。</p>	<p>真相があきらかになったので、道静の心は、すぐにおちつきをとり戻した。</p>
<p>“不，不管她是恨我、恨我，我还是去找她。她不会因为我姑妈恨我的，一定去找她！”决心下了，她的脚步就加快了。</p>	<p>「いや、たとえかの女がじぶんのことを怒っていても、恨んでいても、やはりかの女を訪ねるべきだ。かの女が叔母さんのことで、じぶんを恨むはずがない。そうだ、かの女を訪ねよう！そう決心すると、道静の歩調は、たちまち速くなく？」</p>
<p>“你当我没经验过？我知道她，了解她！她要不是因为我迷着共产党才拒绝了我的友情，我就挖掉这两只眼睛！”</p>	<p>「あなた、あたしに経験がないと思ってるの？あたしは、あの娘のことをよく知ってるのよ、とってもよく。かの女が、あたしの友情を拒絶した理由が、共産党にいわせてるためでなかったら、この目をほじくりだしてもいいわ！」</p>
<p>因为总想可以找到徐辉，她仍然没有把它烧毁，只是随身带在身上。</p>	<p>徐輝に会えると思っていたので、いまだに焼きすてないで、いつも身につけていたのだ。</p>
<p>她的心因为愤怒、因为憎恶、因为怕受侮辱的恐惧激烈地狂跳起来。浑身忍不住一阵颤抖。</p>	<p>かの女の胸は、怒りと憎しみ、それに侮辱をうけはしないかという恐れのために、はげしく波打ちはじめた。全身にふるえがきた。</p>
<p>刘看守因为说了谎话，已被调走。</p>	<p>劉看守は嘘をついたために、持場を変えられてしまった。</p>
<p>当道静从农村回北平找徐辉的时候，徐辉正是因为市委临时叫她做交通工作，离开了学校。</p>	<p>道静が、農村から北平に帰って、徐輝を捜していたころ、徐輝は市委員会から臨時のレボを命じられて、学校を離れていた。</p>
<p>来之前，因为没有活动经费，他常常是饥一顿饱一顿的过日子。</p>	<p>ここに来るまで、活動費がないため、かれはいつもくうやくわずですごしてきた。</p>
<p>因为左洗右洗用力洗，可总是洗不干净。因为身上、破衣服到处全沾满了煤屑，一会儿工夫这些煤屑便又沾到脸上手上了。</p>	<p>だが、あつこつこつと洗いこすしても、ちっともきれいにならなかった。全身に炭粉がついているので、それがすぐ手や顔についた。</p>
<p>孟大环歪着大脑袋想了想答应了。可是没上“真光”电影院，却叫江华跟着他上了“大观楼”。因为这里他手下的喽罗多，不怕江华逃脱掉。</p>	<p>孟大環は、でかい頭をかしげて考えてから、承知した。だが真光映画館にはいかないで、江華をつれて大観楼へ入った。というのは、ここには、かれの配下のデカがたくさん配置してあるので、江華を逃がす心配がないからだ。</p>
<p>“没有问题，绝对服从组织的需要。”她说起话来爽利而果决，“刚才那么说，是因为北大党的力量比过去弱多了，我再一走，恐怕受影响。我们不断地和C. C. 学生争夺北大学生办的平民学校，争夺许多公开的组织，斗争是很尖锐复杂的呢。”</p>	<p>「いま、あんなふうにしたのは、北大における党の力が、以前に比べて、ずつと弱まっているためなの。それで、わたしがいつてしまうと、おそらく影響が出るんじゃないかと、それが心配——」</p>
<p>“告诉你，北大的一个女生爱上我啦——因为我还没征求你的意见，我还没有和她多接近……你看怎么办好？”</p>	<p>「話があるんだ。北大の女子学生が、ぼくを愛してしまっただけ——きみの意見を聞いてないんで、なるべく近寄らないようにしてるんだが……きみさ、どう思う？」</p>
<p>“因为胡梦安那个坏蛋离开北平了，再说小林本来也不是共产党，所以我爸爸托人一说，小林就有希望出来啦。再过几天有了准确的日子我就去接她。”</p>	<p>「胡夢安の奴が、北平からよそへいつてしまうので、それに、道静は、もともと共産党ではないでしょう、それで、わたしの父がコネを使って動いてくれて、やつと釈放される望みが出てきたんです。もう二、三日して、はっきり釈放される日がきまったら、わたし、かの女を迎えにいこうと思つてますの。」</p>
<p>你不要过于悲哀，因为你即将临产。</p>	<p>どうかあまり悲しまないでくれ、なぜなら、きみはずで臨月のだから。</p>

中国語原文	日本語訳文
只有嘴唇微微颤抖，眼睛也许因为泪光显得更加明亮。	ただ、その唇がかすかにふるえ、その目も涙のためか、かえってかやきを増しているようにあかるかった。
因为煤块砸伤了脚，好几个月不能上班，结果叫路局裁下来了。	石炭の塊りで足にけがをし、数カ月間出勤できなかったために、鉄道局から首をきられてしまった。
///尤其道静因为在家的时间比较多，更多地照顾着这青年，因此这年轻的病人对她也就产生了格外亲切的情感。	///なかでも道静は、家にいる時間が比較的多かったので、より多くこの若者の面倒を見てやった。そのため、この年若い病人は、かの女に対して、とりわけしたしみを感じているのだった。
道静离开晓燕的家和刘大姐去住机关，因为工作的关系，更因为晓燕和戴愉的关系，她一离开晓燕，就没有再看过她。	林道静は晓燕の家を出て、劉のあねさんとアジト暮らしをするようになってから、任務の関係で、特に晓燕と戴愉のあいだ柄の関係で、一度も晓燕に会いに来ていなかった。
因为行人稀少，并没有人发现他。	通行人が少ないところだったので、だれにも発見されなかった。
///因为北京大学是一个有历史传统的“自由”学府，至少外表上学生听课、选课、出来进去都很随便。	///北京大学は、歴史と伝統をもった「自由」の学府で、少なくとも表面上は、聴講や課目の選択、教室への出入りは、ひじょうに自由だった。
因为感觉说话不便，这时，她摘下口罩继续说道：	話をするのに不便なので、そこまでいうと道静は、マスクをはずしてしまった。
自从徐辉调走后的这一个时期，剩下我们几个人，因为怕暴露，怕再遭受逮捕，是太过于保守了。”	徐輝がよそへまわされてからこれまで、残されたのはわたしたち三人、敵に見破られるのを恐れ、逮捕されるのを恐れ、いささか保守的になりすぎた感があるわ。・・・」
“党剩下的力量不大了，我们要珍惜这点力量，因为这是革命的本钱。”	「党の残した力は大きくない、われわれはこの力を大切に保持しなくては。なぜなら、これは革命のものでないから」
///“我总觉得北大的同学是先进的，是有觉悟的，只是因为没有很好的去组织、去发动，因此，有些同学不得不埋头书案来安慰自己痛苦的心灵。...”	「わたしはね、北大の学生は進歩的で、ちゃんとした自覚をもっていると、いつも思っているのよ。ただ、ちゃんと組織しなかった、かれらの力を発動できなかった。だから学生のある者は、勉強に埋没して、じぶんの内心の苦しみをまぎらすほかはなかった。・・・」
在狱中因为怕看守抢走或失掉，她把这件珍贵的礼物时刻不离地穿在身上，整整穿了一年。	獄中で看守に奪われたり、失ったりするのを恐れて、道静はこの貴重な贈物を、かたときも離さず、まる一年身につけていた。
出狱后因为怕穿坏，她才脱下来不再穿它，而用一条极华美的纱巾包起它藏在箱底。	出獄してからは、いためてはならないと思っ、やっとぬいで、美しいジョーゼットのきれに包んで、バスケットの底にしまっておいたのだった。
因为屋子冷，江华不住地搓着两只大手。	部屋の中が寒いので、江華はたえずごつい両手をこすっていた。
“...当然，因为她和戴愉的关系，因此，还需要冒险点和下点功夫。...”	「・・・もちろん、かの女と戴愉の関係があるから、少しばかり、危険を冒すことと時間をかけることは、まぬがれないだろうがね。・・・」
///“他的双腿在一次刑讯后被老虎凳轧断了，因为他正领导狱中的绝食斗争，被敌人发觉.....”	///「かれの両腿は、拷問椅子によって粉ごなに骨をくだかれ、ぶち折られてしまった。かれが、獄中のハンスト闘争を指導していたことを、敵に見発されたからだ.....」
亲爱的燕姐：不管你怎样地讨厌我、害怕但是我仍然爱着你、信任你，因为我们是一起长大的，我们彼此有过多深厚的友情与信任呵！	愛する燕ねえさん+++あなたが、どんなにわたしを嫌っても、わたしをこわがっても、わたしはやはり、あなたを愛し、あなたを信頼しています。なぜなら、わたしたちは一緒に成長し、おたがいに厚く深い友情と信頼を、もちあってきたからです。
///燕，现在，我知道你还会不相信我的话，因为你被爱情蒙蔽了眼睛。	///燕、いまのあなたが、わたしのことばを信じないのは、わたしはよくわかっています。なぜなら、あなたは愛情に目をふさがれているからです。
因为他们两个是经过介绍才来参加的，所以人们看着他们并不奇怪。	道静たちふたりは、ある学生から紹介されて参加したので、みなはふたりを見て、別に怪しむようなことはなかった。
因为冷，他用力抱着肩，想说什么却没有说下去。	寒いので、力をいれて肩を抱きすくめながら、つつけてなにかいおうとしたが、そのまま口をつぐんでしまった。
因为过于兴奋，他说话又有些结巴了。	あまり興奮しているためか、かれのことばはどもっていた。
///“在路芳的帮助下我闹通了——可以向敌人去要求民主，因为这也是一种策略。...”	///「路さんのおかげで、ほくもわかったんだけど——敵に対して、民主主義を要求していいんだよ。なぜなら、これは策略なんだ。・・・！」
这诗确实立刻吸引住这些年轻的人们，因为它把他们当时的心情深刻地刻画出来了。	その詩はたしかに、これら青年の心をひきつけてしまった、なぜなら、かれらのその時の心境を、深く掘り上げていたからだだった。
过去，我们的工作遭受了极严重的损失，因为那时领导成问题。	「・・・過去において、わたしたちの運動が大きな損失を受けたのは、みな指導に問題があったのです。・・・」
“...因为我缺乏经验，水平低，所以北大的工作直到最近才稍有起色。”	「わたしは経験もなければ、レベルも低い。だから北大の運動は、最近になってやっと、いくらか芽が出てきた状態だよ」
至于要求上南昌去的意图，现在办不到，因为按组织系统，他不便调动他。	南京へ転動したいという要求に対しては、いまはできない、組織系統が違うので、かれの力ではどうにもならないのだと、断ってきた。
///但是戴愉并不肯放过她，他煞有介事地哭着，他发誓说他是真爱她的，因为爱她，和她真纯的爱，这才给他留下了一点人性，在他污浊的心灵里，还有一点光明的地方——这就是晓燕的善良，这就是她高贵的影子。	///しかし戴愉は、かの女を手放そうとはしなかった。大時代的なよすで泣きじゃくり、じぶんは、心から晓燕を愛している、愛しているからこそ、かの女に対する純潔な愛があったからこそ、かれの腐りはた魂の中にも、ひとにぎりの人間性がとどめられ、一条の光明がさしこんでいたのだ——それはすなわち、晓燕の善良さによるものであり、かの女のその高貴な魂が、これまでかれを救っていたのだと、かきとどくのだった。
为这个，他已经挨了主子的斥责，受了警告，因为心情烦恼，他才喝得大醉。	このため、かれはボスから叱責され、警告を受ける破目におちいり、憂き晴らしに大酒をあおり、泥酔してしまった。
因为情况的突然变化，使得他必须采取许多紧急措施。	情況のとつぜんの変化は、かれに多くの緊急処置を講じる必要を、生じさせていた。
东北大学的同学在“九一八”后遭到了国破家亡的深重的痛苦，也遭到了因为饥饿、流亡而更深一层的欺瞒与压榨。	東北大学の学生は、「九一八」事件ののち、国破れ家亡びという悲惨な苦しみを体験し、また、このために餓餓と流亡を余儀なくされ、よりひどい欺瞞と圧迫、搾取を蒙っていた。
因为帽子被打掉了，他们一个全在凛冽的寒风中光着头。	乱闘の中で、帽子をたたき落とされてしまったため、みんな肌をさす寒風に、はだかの頭をさらして、行進しているのだ。
<b>倾城之恋 (原文)</b>	
///可是这里过了一千年，也同一天差不多，因为每天都是一样的单调与无聊。	///しかしたとえここで一千年過こしても、一日過ごしたと変わることはない。なぜなら毎日が一樣に単調で退屈なのだから。
这时候，四爷一个人躲在那里拉胡琴，却是因为他自己知道楼下的家庭会议中没有他置喙的余地。	いま四旦那はひとりそこに隠れて胡弓を弾いている。階下の家族会議の席で、自分の口をはさむ余地がないことを知っているから。
因为惧怕太太的报复，那二夫人始终不敢回国。范柳原就是在英国长大的。	その任返しを恐れて、第二夫人は最後まで国に帰ろうとしなかったため、範柳原はイギリスで成長した。
徐太太主张先忙完了宝络，再替流苏撮合，因为范柳原不久就要上新加坡去了。	徐夫人はまず宝絡のほうを片づけてから、流蘇の話にとりかかったほうがよいと言った。柳原が間もなくシンガポールに行かなければならぬからだ。
///他这句话，似乎并不是挖苦她，因为她渐渐发觉了，他们单独在一起的时候，他总是斯斯文文的，君子人模样。	柳原の言葉は、流蘇をなぶりものにしていても思えなかった。というのは、流蘇もしだいに気づいてきたのだが、ふたりだけにいるときには、柳原はいつもきちんとしていて紳士的だった。
她不敢结婚，因为印度女人一闲下来，呆在家里，整天坐着，就发胖了。	彼女はどうしても結婚というものをする気になれない。なぜかと言うと、インドの女はいったん暇ができると、一日中家に坐りこんでいるので、たちまち太ってしまうからなんだそうです。
她倒也赞成，因为精神恋爱的结果永远是结婚，而肉体之爱往往就停顿在某一阶段，很少结婚的希望。	それなら自分も賛成だ。精神的な恋愛のゴールにあるのは結婚に決まっているが、肉体的な愛はたいてい途中でうまくいかなくなって、結婚できる望みは少ない。
这是他第一次吻她，然而他们两人都疑惑不是第一次，因为在幻想中已经发生无数次了。	これは柳原から流蘇への初めてのキスだったが、ふたりにはそれが初めてのような気がしなかった。なぜなら幻想の世界では、もう数えきれないくらいあったことだったから。
流苏因为满心的不得意，多喝了几杯酒，被海风一吹，回来的时候，便带着三分醉。	すっかり滅入っていた流蘇はいささか酒を過し、潮風に吹かれて帰って来る頃にはほろ酔い気分になっていた。
打电话到跑马地徐家，久久打不通，因为全城装有电话的人没有一个不在打电话，询问哪一区较为安全，作避难的计划。	ハッピーバレーの徐家に電話をしたが、いつまでたっても繋がらない。なぜって、街じゅう電話のある者はひとり残らず電話中、どの辺りが安全かを訊ねて避難計画をたてているから。
因为柳原忘不了马来菜，她又学会了作油炸“沙袋”，咖喱鱼。	柳原がマレー料理を懐かしがるので、「砂ふくろ」の揚げ物や魚、のカレー煮の作り方なども覚えた。
流苏因为他们围城中自顾自搬到安全地带去，不管她的死活，心中有三分不快，然而也只得笑脸相迎。	流蘇は、敵に包围されていた時期に、彼らが自分たちだけでさっさと安全地帯に引越して、自分の生死も顧みてくれなかったことを思い出し、あまりいい気持ちはしなかったが、やはり笑顔で迎えないわけにはいかなかった。
也许就因为要成全她，一个大都市倾覆了。	もしかしたら彼女の思いを遂げさせるために、一個の大都市がひっくり返ったのかもしれない。

中国語原文	日本語訳文
<p><b>棋王 (原文)</b></p> <p>因为所去之地与别国相邻，斗争之中除了阶级，尚有国际，出身舜一些，组织上不太放心。</p> <p>我因为不喜欢象棋，也就不去关心什么象棋冠军，</p> <p>我对棋呆子能出去串连表示怀疑，因为以前大家对他的描述说明他不可能解决串连时的吃喝问题，</p> <p>可大家说呆子确实去串连了，因为老下棋，被人瞄中，就同他各处走，常常送他一点儿钱，他也不问，只是收下。</p> <p>我因为有过饥饿的经验，所以特别渲染了故事中的饥饿感。</p> <p>又因为常割资本主义尾巴，生活就清苦得很，常常一个月每人只有五元钱油，吃饭钟一敲，大家就疾跑如飞。</p> <p>我后悔用油来表示我对生活的不满，还用书和电影儿这种可有可无的东西表示我对生活的不满，因为这些在他看来，实在是超出基准线之上的东西，他不会为这些烦闷。</p> <p>因为叠页不用动脑筋，所以就在脑子里走棋，有的时候，魔症了，会突然一拍书页、喊棋步，把家里人都吓一跳。”</p> <p>因为腿长，大家叫我脚腿。……”</p> <p>我因为这样那样的事，加上农场知青常常斗殴，又输入火药枪互相射击，路途险恶，终于没有去。</p> <p>这几天，大家因为钱紧，不敢怎么吃，晚上睡得又晚，谁也没想到会有这么一个场面。</p>	<p><b>チャンピオン(棋王) (訳文)</b></p> <p>先方は外国と隣あった土地なので、闘争のさなかのこともあって、出身階級のほかに国際関係があり、送り出し機関は「出身が悪い」と首をひねった。</p> <p>ぼくは将棋好きではなかったから、将棋のチャンピオンなどには興味はなかったが、</p> <p>ぼくはもともと将棋屋が学校交流運動に行くのは無理だろうと思っていた。というのには以前みなに彼について言っていた言葉の端ばしから、彼には学校交流に出たときの食費が出せないことがわかっていてからである。</p> <p>しかし、みなは彼がたしかに学校交流に出掛けたのだと言った。彼がいつも将棋を打っているのをある男に見こまれて一緒に各地を渡り歩くことになったのだ。そして、その男がいつも彼に小遣いを渡し、彼は黙ってそれを受け取っていた。</p> <p>ぼくも飢餓の経験を持っていたので、この小説のなかの飢餓の感覚を人ごとと思えないところがあったのである。</p> <p>また、資本主義のしっぽを断ちきるためということで、生活は極端に切りつめられていた。食用油の配給は月に十五グラムちょっとしかなかった。食事の鐘が鳴ると、みな必死に走った。</p> <p>///ぼくは食用油などで自分の生活に対する不満を表したことで、また、あつてもなくてもいい本や映画などで自分の生活に対する不満を表したことをひどく悔やんだ。これらは彼からみれば基準以上のものであり、彼がこれらのことを悔やみはなかったからだ。</p> <p>折りなんて仕事は頭を使うことはなかったから、頭のなかではいつも駒を動かしていた。それで、つい夢中になって目の紙をバンと叩き、1七兵などと呼んでお袋たちをびくつきさせたりしたものだ。</p> <p>足が長いもので、のっぽなどと呼ばれています。……”</p> <p>みなから様子を見に行ってみると言われたが、なにかと用事があり、それに農場の学生たちがやたらがみあい、はては鉄砲まで手にいれて撃ちあったり、危険千万だったので、ついに行かずじまになった。</p> <p>この数日、ぼくらは金が心細くなっていたので、食べ物も満足に食わず、夜も遅くまで起きていた。こんなことになるうとは考えてもみなかった。</p>
<p><b>人到中年 (原文)</b></p> <p>他因为突然的眼病来住院了，恰巧是她负责的病人。</p> <p>“正因为这样，我们的民族才是伟大的民族！”刘学尧又喝了一杯。</p> <p>“到了过熟期，晶体缩小，晶体内部的皮质溶化，悬韧带松弛，手术就比较困难了，因为这时候晶体很容易脱位。”</p>	<p><b>北京の女医(訳文)</b></p> <p>彼が突然眼科の患者として入院してきて、たまたま彼女がその責任者となって治療にあたったことだった。</p> <p>「だからわれわれ民族は偉大だよ」</p> <p>「過熟期に手術しますと、晶体が収縮し、晶体内の皮質が溶化して懸靭帯がもろくなりますので、手術は比較的困難になります。と言いますのは、この時期の晶体は脱落しやすいからです」</p>
<p><b>霜叶红似二月花 (原文)</b></p> <p>但是清明也过去多时，姑太太只派长工李发送了端午节的礼物来，还说是因为少爷出门去了，姑太太的行程大概要展缓到秋凉以后。</p> <p>屋里的空气似乎因为他的出现而忽然冷峻起来，</p> <p>小划子清早从县城开出。因为逆水，走不快。</p> <p>“才一两天工夫，水就涨了这许多！”良材默默地想着，心里又焦灼起来。他看手上的表，八点还差些，船已经走了两小时了，他这才觉得腿有点酸，而且因为老是用心望着，眼睛也有点酸。</p> <p>因为见到了这种种，所以良材对于这所谓“公皇”本来就不上劲，</p> <p>他们的脸上罩满了焦灼和忧悒，然而他们那因为连夜缺少睡眠而长满了红丝的眼睛里却闪着希望的光。///</p> <p>因为看见了客人，继芳止住了啼哭，躲在胖妈妈的身后，两眼灼灼地还在对她父亲瞧着。</p> <p>大家服从他，因为他是钱少爷，是村里唯一的大地主，有钱有势，在农民眼中一向就是个土皇帝似的，大家的服从他，并不是明白他这样办于大家有益，而只是习惯的怕他而已！</p> <p>因为我对于什么都满意，所以世界上也没有不满于我的。</p> <p>可是船头舵房里的老大却伸手去拉警铃的索子，命令机器房改开慢车，因为他知道前面不远就有一座又小又矮的石桥。</p> <p>徐士秀脸色也变了，一半因为害怕，一半也为了仇恨；这一切，都因为婉小姐想把这件事弄得热闹而郑重些，这才由朱竟新献议而被采用了的。</p> <p>“……乡下人容易上当，只因为曹志诚这班人太巧了又太毒辣！”</p> <p>“……如果是生就坯子如此，是不是因为他的父母本来就是那样的一种？”</p>	<p><b>霜葉紅似二月花(訳文)</b></p> <p>しかるに瑞叔母は清明も過ぎて大分たつてから、下男の李発をよこして端午の節句の贈物を届けてき、ついでに、息子が留守勝ちなので、出てくるのは多分秋になってからだろうと伝言してきた。</p> <p>室内の空気は、彼の出現によってにわかにかわばつたようであった。</p> <p>舟は朝はやく町を出た。しかし、流れを遡っているから、舟は遅い。</p> <p>「たった二日でこんなに増えたのか」+++良材はまたいららしてきた。腕時計をみると、間もなく八時だ。もう二時間になる。そう思うと、不意に足がだるくなってきた。目をこらしつづけていたせいも、暇も重くなってきた。</p> <p>こうした事情が詰めていたからこそ、良材はこの「請願」なるものにはじめから乗り気になれなかった。</p> <p>彼らのしわだらけの顔は焦りと憂いにとざされていたが、連日の寝不足のために血走った目には、希望の光がともっていた。///</p> <p>客の姿をみて継芳は泣きやみ、母乳のうしろにかくれたが、目だけはいつまでも父親にそそぎつづけていた。</p> <p>人びとが彼に服従したのは、彼が錢家の若旦那であり、村でただひとりの大地主であり、金も力もある、農民の目からすればこの土地の皇帝のような存在であったからだ。人びとが彼に服従したのは、彼のこうしたやりかたがみなのためであると納得したからなどは決してない。習慣的に彼を恐れているからにすぎないのだ。</p> <p>わたしはすべてのものに満足しているから世間でもわたしに不満をもつものはいない、</p> <p>しかし、船首の操舵室の船長は、非常ベルのつなを引き、機関室に速度を落すよう指令した。彼は、間もなく、小さな低い石橋が現われることを承知していたのだ。</p> <p>徐士秀は顔色をかえた。恐怖と、それに怒りのためだ。</p> <p>こうした段取りは、婉卿が夢中になって考えたすえ、朱竟新の提案にもとづいて決めたものだった。</p> <p>「百姓たちがだまされるのは、曹志誠たちのやりかたがあまりに巧妙で、悪辣だからだ」</p> <p>「……もし、生まれつきそうなのだとしたら、その両親もやはりそうだったというのだろうか。……」</p>
<p><b>天云山传奇 (原文)</b></p> <p>最近一个时期，因为中央有了实事求是、纠正错案、冤案的精神，这类申诉材料多得惊人。</p> <p>他说我有点像刚到医院实习的学生，看到病人多就大惊小怪，一个有经验的大夫，是不会因为病人多就产生这种情绪的。</p> <p>我说，也可能正因为我是新手，我才没有学会你们那种麻木不仁的态度。</p> <p>因为丈夫到南方养病，女儿又出去复习功课去了，我也就没给屋子生火，空荡荡的房间里，显得特别冷。</p> <p>只是因为她父亲的地位关系，他才在表面上依旧热情地接待她。</p> <p>我因为她讲的题目相当大，沉吟了片刻，没有回答。</p> <p>“因为等待，感到很寂寞，山风从峡谷里吹过来，吹得我直打寒噤。……”</p> <p>“我不想形容它，因为我不知道它过去，也许它比当年要好些，但我总感到它还是简陋得可怜。……”</p> <p>可我们又觉得没有把握，因为他身上还有我熟悉的某些气质，而这种气质又不是一个普通工作者所具有的。</p> <p>“屁用处！”我因为对他纠正我，有点不高兴，便粗重地回了他一句，“老顽固们才喜欢它呢！”</p> <p>“当天晚上，我没有打听到什么。第二天早晨，因为想起自己的任务，也就把这事丢在一边。……”</p> <p>周瑜贞讲到这里，突然停止，因为我桌上的闹钟当当地响了起来。已经是深夜11点了！</p> <p>正因为这样，有那么一些人，就以党的身份在你面前出现，他们说他们代表组织，而我们也就把他当成组织，尊重他，服从他，甚至压制自己的痛苦而坚决照办。</p>	<p><b>天雲山伝奇(訳文)</b></p> <p>このころ中央が実事求是で〔事実〕に即して「誤審・冤罪事件を名誉回復する方針」を打ち出しているから、こうした種類の訴えが驚くほど多いのだ。</p> <p>彼が言うには、私のは病院に実習に来たばかりの学生が、病人が多きさか面白くないで仰天しているみたいなのだ、経験をつんだ医者というものは、病人が多いからといって格別驚きはしない、と。</p> <p>私が新米だからこそ、あなた方みたいにそんな鈍感な態度はとれないのですと反論するのだった。</p> <p>夫は南方へ療養に行き、娘は勉強に出かけていたし、私は部屋に火もたがずにいたから、人気がない室内は格別寒々と感じられた。</p> <p>ただ彼女の父親の地位のために、表面上は相変らず親しそうに相手をしていた。</p> <p>彼女の問いかけは大問題なので、私はしばらく考えこんで答えずにいたが、</p> <p>「待っているのはとても寂しく、山風が谷間から吹いてきて私を身震いさせたわ、……」</p> <p>「なんと形容していいかわからないわ、だって私は昔のことを知らないもの、多分昔よりはいくらかましなんでしょうね、でも私にはあそこは実に情けない程むびしい所に思えたわ。……」</p> <p>しかし二人とも確信は持てなかった、というのには我々にとって身近なある種の風格があり、それはふつうの労働者にはあまり見かけないものだったから</p> <p>「屍の役にも立たないわ！」私は彼に間違いを指摘されたのがいさか面白くないで、粗野な調子で言い返した「そんな物を喜ぶのは保守反動の連中だけよ！」</p> <p>「その晩は私はそれ以上のことは聞かず、次の朝は自分の仕事のことを考えて、あの事はひとまず置き、朝食がすむと鎮革命委員会へ前日会ってくれた同志をたずねた。……」</p> <p>周瑜貞はここまでくると突然話をやめた。私の机の上の目覚まし時計がチンチンと鳴り出したから、もう夜更けの十一時になっていた。</p> <p>そうだったからこそ、一部の人間たちは、我々の前に「党」の資格で立ち現れ、組織を代表して口をきいたのだし、またそういう人を我々は組織そのものとみなして尊重し、自分の苦痛を抑えつけてまで断固としてその人に服従したのだ。</p>

中国語原文	日本語訳文
实际上,那个时候,我们既没办法也无能力去思考问题,因为我们实际生活知识那么贫乏,学习又是那么差,不光自己不学,对别人看书,只要不是规定的符合正统的,我们还很反感呢!	当時は、そうした事を私は全く理にかなった事と考えていた。「自立した思考」(文革後、しきりに言われるようになった)などということを一体どうして私が考え得たのだろうか? 実際あの頃、我々は何もを考へることはどういふことか知らなかったのだ、我々の現実生活についての知識は実に貧しく、判断力はまことに低かったし、自分が勉強しないばかりでなく、他人が本を読むことにも、それが正統的とみなされて指定された本以外だと、大変に反感を抱いたものだ。
在综合考察队的一段生活,因为罗群的批评,有所改进,但我很快又被调进党校了。	総合調査隊の時期には、羅群に批判されていくらか態度を改めたが、私はすぐにまた党の学校へと廻されてしまったのだ。
这个科长姓朱,是吴遥的老部下了,我很不喜欢他,因为他不仅不好对上献媚,而且好打别人的小报告。	この課長は朱といひ、吳遥の古い部下、吳遥に対してはとても忠義立てするが、上役に媚び、人のツゲロをするので、私は平素から大嫌いな男である。
“对工作、对事业,我们先不谈吧,因为你很了解我是如何热爱我们的社会主义工作和事业。…”	「仕事については、何も言う必要はないでしょう、なぜならあなたは、私がいかに我々の社会主義の仕事に熱愛していたかをよく知っていられるはずですから。…」
“…我记得我是因为我太关心你们的爱情发展,而且是你受委托,才认真站在旁边观察罗群的,那时你用热恋的眼光望着他,而我却是以理智的心灵来观察他的。”	「…私はあなた方の愛情の進展を願ひ、またあなたに頼まれもしたので、はじめて傍から本気で羅群を観察し始めたことを覚えてます。あの時、あなたは恋の熱い目で彼を見つめ、私は理性で彼を観察したのでした。」
“…我翻着翻着,眼里不由又有点湿润了,原来他在被戴上帽子开除了党籍之后,考虑的却是这样一些重大问题,他刚才的笑容,大约就是由此而产生的,因为他又确立了长征的目标。”	「…それをめくりながら私はまた目頭が熱くなってくるのでした。この人はレッテルを貼られ党籍を剥奪されてなお、こんな大志を考へていたので、さっきの微笑は、再び自分の“長征”の目標を確立したことが原因なのだ……。」
“假使到这时为止,不再向前发展,罗群的计划是可以顺利进行的,因为这时,他还是一个国家的干部;当地的老乡也从来没有把他当作坏蛋看待,因为通过凌署同志,群众对罗群已有更深的了解。”	「事態がここまですすんでいたら、羅群の計画も順調にすすんだことであろう、まだこの時は彼は国家の幹部でしたし、村人達は、凌曙同志を通じて彼をよく理解していたので、彼のことを全然悪人とみなしていなかったのですから。」
“也许就是因为撤销了这个特区,也许是有正义感的同志坚持,我获悉罗群只被开除公职,仍旧放回原地监督劳动。开除公职,…”	「//特別区が解消したせい、正義感のある同志たちの強い支持があったせい、羅群は公職追放になっただけで、もとの地方で“監督下の労働”に従事すればよいことになったのでした。公職追放は本来なら実に残酷なことですが、…」
“正是因为他坚持了这些观点,他的问题不但没有解决,在“文化大革命”中又进一步升级了。…”	「彼がこの見方を堅持したからこそ、彼の“問題”は解決されるどころか、文化大革命中にはまた一段と“昇格”してしまつたのです。…」
“…要不是因为我我是个女的,他肯定要把我抱着跳起来。…”	「…もし私が女じゃなかったらあの女きつと私に抱きついで跳び上つたに違いないわ。…」
他一向不穿讲究的上衣,但是裤子则要考究,因为这样既有朴素感又显得有身份。	彼は従来、上衣は上等の物を着ないが、ズボンにはとても気を使った。そのようにすると質素な感じもするし、地位の高さも表現されるというのである。
但是,因为罗群,一时还不知怎么开口。	ところが、羅群となると、どう口火をきいていいかわからない。
他见我说话,有话要跟他讲,他的脸上闪过一阵阴云,但很快反变得含笑地点点头。他刹那间的表情,没有逃过我的眼睛,也正因为我看到了这一点,我只得绕大弯子说话。我	話がある、と聞くと、彼の顔にはサッと暗い雲がかかったが、すぐに逆に笑顔をつくり、首を頷かせた。この瞬時の表情を私の目は見逃さなかったの、私はそれを見とやほり話をずつと遠回しにもつていかねばと思つた。
“但是我不能因为她是我的爱人,就不进行批评,…”	「しかしわたしは彼女がわたしの妻だからといって批判しないわけにはいかない。…」
他不敢在她面前摆官架子,因为周瑜贞认得的首首长太多了,而那些首长又都很喜欢她,把她当作自己的女儿一样。	彼は彼女に対しては役人風を吹かせられない、というのも周瑜貞は多くの偉いさんを知り合ひで、この偉いさん達がまた自分の娘のように彼女のことを可愛がっていたからだ。
我猛然一呆,周瑜贞也吃惊地瞪大眼睛,因为她还是第一次看见他用这种态度对待我。	私はギョツとしたが、周瑜貞もびびりして目を見張つた、彼が私にこんな態度をとるのを彼女ははじめて目撃したのだ。
我在客厅里停了停,因为我的头一直是晕的,两腿也发软。	頭がまだぐらぐらするし両足もふらつくので、私は客間で立ち止つた。
我慢慢从地上爬起来,抬起身子望着他,我的嘴可能在流血,我的脸色可能特别怕人,因为我看见他突然住了嘴,惊慌而恐怖地往后退着。	//私はゆつくりと立ち上つた。恐らく私の口からは血が流れ、よほどだならぬ顔色をしていたのだろう、彼の方をみると、彼は急に口をつぐみ、慌てた、恐ろしい様子であつたから。
我挪动步子,朝楼下走着,但是因为这两天我受的刺激太大了,昨夜又发了一夜烧,我的腿抖个不停,晴岚的、罗群的、吴遥的脸,又不断在我眼前闪来闪去,我刚下了两三级,一脚踩了个空,整个身子顺着楼梯滚了下去。	私は階下へと足を踏み出した。しかしこの数日來のショックがあまりに大きく、また昨夜は一晚発熱したので、足がぶるぶると震えつづけ、晴嵐の、羅群の、吳遥の顔が次々と私の前にめまぐるしく交錯し、二三段階りかけたところで足を踏みはずして、あつていつ間に階段を下までころげ落ちた。
因为是这样想的,上了路,心地倒是坦然,的。	こう考へていたので、道中、気持は落着いていた。
小鮎庄(原文)	小鮎荘(訳文)
那天二小子的红圆脖叫老师要回去了,因为他和人打仗,把人家门牙敲掉了。	ある日、二小子が先生から赤いネッカチーフを返せと言われたことがあつた。人と殴りあいをして、相手の門歯を折ってしまったからだ。
骆驼祥子(原文)	駱駝祥子(訳文)
我们所要介绍的是祥子,不是骆驼,因为“骆驼”只是个外号;	私がここに紹介しようと思つているのは祥子のことであつて、駱駝のことではない。というの、 <b>「駱駝」</b> はたんなるあだ名にすぎないからであるが、
在后者的情形下,因为还有相当的精气神,所以无论冬夏天总是“拉晚儿”②。	後者の場合は、まだまだ元気ないい連中のことだから、暑かろうが寒かろうが、かならず「終夜」で稼ぐ。
在这里,二十岁以下的——有的从十一二岁就干这行儿——很少能到二十岁以后改变成漂亮的车夫的,因为在幼年受了伤,很难健壮起来。他们也许拉一辈子洋车,而一辈子连拉车也没出过风头。	なかでも二十以下の連中——一、二からこの稼業にはいる者もある一で、二十すぎでジャンとした車夫になるというのはめつたにない。ほとんどが一人前になるまえにからだをだめにしてしまうからだ。ひょつとして生涯を車引きでおくる者もなきにしもあらずだが、彼らは車引きとしてさえいつに得意の時代をもつことはできないのだ。
因为拉着洋人,他们可以不用穿号坎,而一律的是长袖小白褂,白的或黑的裤子,裤筒特别肥,脚腕上系着细带;脚上是宽双脸千层底青布鞋;干净,利落,神气。	外人を乗せるため番号入りのチョッキを着なくてもよいことになっているもので、彼らは言ひあわせて長袖の上着に白か黒の太めのズボンをはき、足首を細い紐でくくっている、足とも飾り紐が二本はあった先の丸い厚底の黒靴でかため、なんともいなせなものである。
因为嘴常闲着,所以他有工夫去思想,他的眼仿佛是老看着自己的心。	口を使うことがないので、自然、考える時間ができる。彼の目は一途におのが心のうちを見つめつけているかのようだった。
脚好了之后,他敢跑了。这使他非常的痛快,因为别的没有什么可怕的了;	足がよくなると、彼は風爽と走つた。もうこわいものなしだったの、じつに痛快だった。
本来值一百多,可是因为定钱放弃了,车铺愿意少要一点。	百円以上するものだが、手つけがはいっているの、ずしこいものもなし。製造元ではそういうのである。
越看越可爱,就是那不尽合自己的理想的地方也都可以原谅了,因为已经是自己的车了。	見れば見るほどほれほれする思ひで、これが自分の車なのだと思つて、夢に描いていたものといさかきかちがうところがあつても我慢できた。
因为父母死得早,他忘了生日是在哪一天。	両親にはやく死に別れたので、誕生日も忘れてしまった。
因为高兴,胆子也就大起来;	心楽しいことがあれば、肝玉だつておのずと太くもなるうというもので、
///当他走到个小屋门或街门而必须大低头才能进去的时候,他虽不说什么,可是心中暗自喜欢,因为他已经是这么高大,	///部屋の入口や門に身をかがめてはいらねばならぬときなど、口にはださないながら、うれしくてたまらなかった。おれはもうこんなに大きくなったのだ。
因为缺雨,因为战争的消息,粮食都长了价钱;这个,祥子知道。	日照りだといつては、戦争の値については、食いの値がはねあがると、彼も知っていた。
关于战争的,正是因为根本没有正确消息,谣言反倒能立竿见影。他们自己可是不会跑,因为腿脚被钱焚的太沉重。	が、こと戦争となると、正確な消息がないだけに、たちまち反響を呼んだ。もつとも、連中はずつしりかかえこんだ金に足をどられ、自分では身うごきできない。
祥子还照常拉车,并不因为谣言而偷点懒。	祥子は噂のつて仕事をサボろうなどという気はさらさなく、判でおしたように稼ぎにでていた。
对待骆驼的方法,他不大晓得,可是他不怕它们,因为来自乡间,他敢接近牲口们。	駱駝の扱い方にくわしいわけではなかったが、田舎で家畜を扱ひなれていたので、こわいとは思わなかった。
他必须稳稳当当的快到城里,因为他身上没有一个钱,没有一点干粮,不能再多耗时间。	ぐずぐずしてはいられないぞ。金もなければ食ひものもないのだ。これ以上、途中でひかかつたりせず、しかも一刻もはやく北平へ帰つなければ、
大概他是先睡着了而后坐下的,因为他的疲乏已经能使他立着睡去的。	なにしろひどく疲れていて歩きながら眠っていたりしたほどだったのだから、おそくは眠つてから坐りこんでしまったものだろう。
可是他没动,好象因为先前没想到这样最自然最省事的办法而觉得应当惭愧似的。	しかし、こんなごくあたりまえで手堅なやり方を思いつかなかつたことを恥じいるみたいに、びくりとも動かなかつた。
///他不晓得现在骆驼有什么行市,只听说过在老年间,没有火车的时候,一条骆驼要值一个大宝①,因为骆驼力气大,而吃得比骡马还省。	///駱駝の相場がいまどれくらいになっているものか、まるで知らなかった。ただ、駱駝は力が強いのに、餌は驢馬よりすくなくすむといふので、まだ汽車がなかったころには一頭が五十円銀貨一枚にもなったものという話を聞いたことがあるだけだった。
因为看见了渺茫的物形,他的耳目口鼻好似都恢复了应有的作用。	おぼろげな物の形が目にはいつてきたことで、耳や目や口や鼻が本来の機能を回復したようだった。
“西边!”祥子不敢说地名,因为不准知道。	「西のほうからだよ」自分でもはっきり知らなかったもので、ごまかした。

中国語原文	日本語訳文
因为没有家小，他一向是住在车厂里，虽然并不永远拉厂子里的车。	一生この車を引くつもりはなかったのだが、独り身だったので、ずっとそこに寝泊まりしていたのだ。
/// 别的车夫，因为受尽苦楚，说话总是横着来；	///これがほかの連中だと、さんざん苦勞をしてきているから、なにかといえふてくされてみせる。
///这个世界并不因为自己要强而公道一些，	///がんばったらがんばっただけのことはあるなんて、この世間にはそんな甘いものじゃない。
他很明白这是好话，可是因为事不顺心，身体又欠保养，他有点肝火盛。	虎・に何度言われたかわからない。つくづくありがたいとは思うのだが、ことが思うように運ばぬところへもって来て疲れがかなり、むしゃくしゃしているもので、つつい口をとがらせてしまう。
祥子生在北方的乡间，最忌讳随便骂街。可是他不敢打张妈，因为好奸不和女斗；也不愿还口。	祥子は北方の農村で育ったもので、人前でみだりに罵声を発することをもつともはしたくないことと想っていた。かといって、大の男が女とやりあうわけにもいかないから、ひと思いにぶん殴ることもできず、言いかえず気もなかった。
///他急忙拉起车走出去，连生气似乎也忘了，因为他一向没见过这样的事，忽然遇到头上，他简直有点发晕。	///肝をつぶした彼は、腹をたてることも忘れ、棍棒をにぎって走りだした。なにしろこんなことは生まれてはじめてだったので、気が速くなりそうだったのである。
人和厂的前脸是三间铺面房，当中的一间作为柜房，只许车夫们进来交账或交涉事情，并不准随便来回打穿堂儿，因为东间与西间是刘家父女的卧室。	。三部屋つづきで、まんなかが帳場である。車夫たちは損料を払うときか仕事の用があるとき以外ははいれない。勝手に通りぬけることを厳禁されているのは、東西の部屋が主人父娘の寢室になっているからだ。
正因为她平日很看得起他，所以不愿头一个就被她看见他的失败。	彼女はかねがね彼を買ってあげている。その彼女に今度のしくじりをまっさきに見つけられるのは辛かった。
祥子看到这里，觉得非常的奇怪，心中更加慌乱，因为平日没拿她当过女人看待，骤然看到这红唇，心中忽然感到点不好意思。	祥子はげげんに思うと同時に、いつそどうぎまぎしてしまっただけで一度だって女として考えたこともなかったところへ、だしぬけにこの赤い唇で、なんとなくばつがわるかったのである。
绿袄在电灯下闪出些柔软而微带凄惨的丝光，因为短小，还露出一点点白裤腰来，使绿色更加明显素净。	緑色の上着は電燈の下で冷たくしなやかに光り、裾にちらりとどぞく腰帯の白さが、その緑をいっそうひきたてていた。
第二天，祥子起得很早，拉起车就出去了。头与喉中都有点发痛，这是因为他第一次喝酒，他倒没去注意。	あくる朝、祥子は起きぬけに車を引いてでた。頭と喉が痛かったが、これははじめて飲んだ酒のためとわかっていたので、たいして気にしなかった。
按理说，他应当很痛快，因为曹宅是，在他所混过的宅门里，顶可爱的。	ほんとうなら、彼はおいにご機嫌でいいはずであった。この曹家は、彼がこれまで住みこんだうち、もっとも居心地がよかったからである。
她比银行经理并不少费心血，因为她需要更多的小心谨慎。	そのため、彼女は銀行の支配人以上の心血をそそいでいた。彼ら以上の細心さと慎重さが必要だったからだ。
///资本有大小，主义是一样，因为这是资本主义的社会，象一个极细极大的筛子，一点一点的从上面往下流，越往下线越少	///現代が資本主義社会である以上、資本の大小というものはあっても、主義そのものにかわりあろうはずはない。たとえば、目のあらい篩から目のつんだ篩へと金を順にふるってゆけば、おちる金はしだいにすくなくなる。
同时，也往下筛主义，可是上下一边儿多，因为主义不象钱那样怕筛眼小，它是无形体的，随便由什么极小的孔中也能溜下来。	おなじように主義を篩にかけてゆくとすると、これは上も下もおなじことだ。主義はもともと形がないものだから、金のように篩の目にひっかかることもなくどんな小さな穴でも通れるからだ。
城里有许许多多事他不明白，听朋友们在茶馆里议论更使他发糊涂，因为一人一个说法，而且都说的不到家。	市内にはまだままだわからないことがいくつもあつた。茶店での仲間たちの議論を聞いてみると、ますますわからなくなった。なにしろ、言うことがいちいち違ううえに、とことんまで話しあわれることがなかったからだ。
因为没地方去，才越觉得自己的窘迫。	どこへも行けないとなつて、さて困つたと思つた。
而学生应当好好的交待功课，不能因为私人的感情而在成绩上马马虎虎。	学生は学生で真剣に授業をうけるべきであつて、個人的感情で成績に手かげんをくわえることはできないと考へていた。
因为急于作些什么，阮明轻看学问。	彼はほかのことに熱中するあまり、学問を軽視していた。
因为轻看学问，慢慢他习惯于懒惰，想不用任何的劳力而获得大家的钦佩与爱护	そのため、いつか怠け癖がつき、勞せずして人々の尊敬と支持を獲得することばかり考へるようになった。
对了，祥子是遇到“点儿”上，活该。谁都有办法，哪里都有缝子，只有祥子跑不了，因为他是个拉车的。	たしかに、祥子は「間がわるかった」のである。まったく、ぬけ道はどこにもあるものだし、だれだってそこをうまくやる。ただ、祥子にかぎってそれができなかったのは、ひとえに彼が車引きであつたためである。
///刘四爷，因为庆九，要热热闹闹的办回事，所以第一要搭个体面的棚。	///劉親方としては、六十九のめでたい誕生日のことであり、ひと派手にやりたいと思つたので、体裁のいい小屋をつくりたいと思つたのだ。
晚上没话和大家说，因为本来没话可说。	夜もみんなの雑談にくわらなかつたのは、話すことがなかつたからにすぎなかつた。
“什么？”祥子蹲在炉旁，烤着手；手并不冷，因为没地方安放，只好烤一烤。	「え？」祥子はコンロのそばにうずくまつて、火に手をかざしていた。べつに冷たいわけではなかつたが、やり場に困つてそうやっていたままである。
他晓得自己的病源在哪里，可是为安慰自己，他以为这大概也许因为二十多天没拉车，把腿蹩生了；跑过几趟来，把腿蹩开，或者也就没事了。	思いあたるふしがあつたが、いやいや、これはきっと二十何日もぶらぶらしていたために足がなまつたんだから、何度か走つて足ならしをすればけろりとなおつてしまふかもしれないと、自分に言いかけた。
父女们在平日自然也常拌嘴，但是现在的情形不同了，不能那么三说两说就一天云雾散，因为她已经不算刘家的人。	父娘で言ひあうことなど日常茶飯のことであつたが、いまは状況がかわつてしまつていた。いかにどなりあおうと一夜明ければけろりとしてしまふわけにはいかないのだ。というのは、彼女がもはや劉家の人間ではなくなつてしまつたからだ。
再说，他自己也没脸再在城里混，因为自己的女儿给他丢了人。	また、娘に面子をつぶされたので、北平では恥づかしくて商売もできなくなつたとも言つていたという。
///得罪了巡警，打了老婆，都因为酒。	///巡査に迷惑をかけ、女房を殴る。これもすべて酒のせい、酔いからさめると心から後悔し、苦しんだ。
///等到他开了差呢，他一点也不可惜那份铺板与一两把椅子，因为欠下的两个月房租由她想法子给上，把铺板什么折卖了还许不够这笔账的呢。	///よその土地へ行くことになつて、寝台や椅子をおいてゆくことになつても、すこしも惜しくない。ちゃんとふた月ばかり家賃をためておき、女に寝台と椅子を売つて支払わせるようにするからだ。
虎妞愿意借给她地方，因为她自己的屋子太脏，而虎妞的多少有个样子，况且是两间，大家都有个转身的地方。	場所も自分のところを貸そうと言つた。小福子の家はきたなかつたが、虎妞の家はまあなんと見られたし、二間あるので自分がひっこんでいられる場所もあつたからだ。
两毛钱绝不算多，因为彼此是朋友，所以才能这样见情面。	二十銭では安すぎるくらいだが、友だちのことだからとにまけておくのだ、と。
白天，她不是找虎妞来，便是出去走走，因为她的广告便是她自己。	昼間は、虎妞の家にいるとき以外は街をぶらついていた。彼女自身が彼女の看板だつたからだ。
这种钱只许他再去喝酒，因为他要是清醒着看见它们，他就会去跳河或上吊。	そんな金を、もしも素面で見たら、彼だって恥づかしくて生きてはいられなくなつた。
还有的，因为中了暑，或是发痧，走着走着，一头栽在地上，永不起来。	また、暑気あたりか、流行病にでもやられたのか、車を引きながらぼつたり倒れて、それっきり立てなくなつてしまふ者もある。
其实，雨并不公道，因为下落在一个没有公道的世界上。	とはいへ、雨はけつて公平とはいへぬ。もともとが不公平な世の中の上に乗るからだ。
她不怕死，可也不想死，因为她要作些比死更勇敢更伟大的事。	彼女は死をおそれしなかつたが、死のうとは思わなかつた。死ぬよりか、もっとも勇気のある、偉大な仕事をなしとげようとしていたからだ。
可是她既然愿意，而且是因生活的压迫不能马上提出来，他似乎没有法子拒绝。	しかし、彼女は現にそうしたいと思つているのだ。しかも、生活に追われて、一刻も待つことができなかったのだ。これを断るという筋合はなさそうだった。
祥子的泪要落下来。他不会和别人谈心，因为他的话都是血作的，窝在心的深处。	祥子は涙がこぼれそうだった。心の底を話したかつたが、なかなかでてこなかつた。それらはみんな血でつくられたもので、心の奥深く秘められていたからだ。
越说越痛快，忘了自己，因为自己已包在那些话中，每句话中都有他，那要强的，委屈的，辛苦的，堕落的，他。	話がすすむにつれて胸が晴れ、われを忘れた。彼自身が話のなかにおり、一言一句に彼が、あのがんばり屋の、虐げられた、悩む苦しむ、墮落した彼の姿があつたからだ。
不错，她不是他心目中所有的那个一清二白的姑娘，可是正因为这个，她才更可怜，更能帮助他。	たしかに彼女は、彼が心に描いていたような清純潔白な生娘ではない。しかし、それだからこそ、いっそういいおしひだ。またいっそう彼の力にもなれるのだ。
祥子坐在了炕沿上，因为立着便不能伸直了脖子。	祥子はどにかく・に腰をおろした。立っていたら背をかがめていなければならなかつたからだ。
///他吃，他喝，他嫖，他赌，他懒，他狡猾，因为他没了心，他的心被人家摘了去。	おのれの心の人々にとりあげられ、心をなくした彼は、それゆゑに、食ひ、飲ひ、女を買ひ、ばくちを打ち、怠け、ずるがしこくたちまわつた。
对什么事他也不想用力，因为以前卖过力气而并没有分毫的好处。	これまでさんざん汗を流して働いたあげくがなんにもならなかつた経験から、彼は疲れるようなことはいっさいやらないことにしていたのである。
他不敢再在街市上走，因为他卖了阮明。	彼はとうてい表通りに足を向けることができなかった。なぜかといへば、彼は阮明を売つたのだ。

中国語原文	日本語訳文
据说因为沿“海”有许多寺庙庵堂，所以得“什刹海”之名。	この“海”のまわりには普寺院や廟がたくさんあったので、什刹海と名づけられたという。
现在北京并没有人摆摊算卦，办喜事也没有什么人再那么讲究生辰八字，偶尔听说外地农村里竟然还有因为算生辰八字酿成儿女悲剧的事，	いまの北京の町角には古い師はいない。結婚にさいしても、生年月日を表す八文字がどうのこうのと、かつぐ人もそういない。農村だとまだそれにこだわる者もあり、 <b>そのため</b> 悲劇がもちあがったということも耳にすることもある。
她 <b>因为</b> 心里头儿堆满了事儿，倒把这个节目忽略掉了。	考えごとが多すぎて、忘れるともなく忘れていたのだ。
这天总算比平日况况稍松缓一点。 <b>因为</b> 是星期日，机关干部和学生们都退出了清晨的这股人潮。	この日はふだんより人出がやや少ない。日曜日なので、勤め人や学生たちが人波から消えたせいだろう。
先是为了尽可能不去上山下乡，后是 <b>因为</b> 安排就业困难，路喜纯所在的那个小饭馆里的年轻人，竟然大多是从后门安排进去的。	彼と同じ店で働いている若者は、はじめのころは山村へ送られまいと、またのちには就職難のためにやむなく来たのだが、驚いたことに、その大部分がコネで入ってきたのである。
“文化大革命”开始了，她作为“封资修的黑苗子”被冲击， <b>因为</b> 讲错了一句话，又被打成了“现行反革命”……	「文化大革命」がはじまった。「封（建主義）・資（本主義）・修（正主義）の黒い龍児」だときめつけられた彼女は、さんざん吊るしあげられたあげく、言いちがいをした <b>ことから</b> 、こんどは「現行反革命」としてやつつけられた。……
///七七年他们全家从干校回北京时， <b>因为</b> 原来的宿舍早已被别人占了，住了很长时间的招待所，直到七九年机关行政处才把他家安排到了这个院里。	一九七七年に、一家が幹部学校から北京に引き揚げてきたとき、もと住んでいた家はもう他人の手に移っていた。彼らはかなり長い間招待所住まいをした末、一九七九年によくいまの家をもらったのである。
她被那场面吓坏了， <b>因为</b> 每个“黑帮”都被剃了光头、挂上了大黑牌，并被“喷气式”地喷着。	彼女がびっくりして母にしがみついた。みんな頭を丸坊主にされ、首から大きな黒い木札を吊るしている。そして「ジェット機」といって、体を折りまげて最敬礼し、両手を背後で高く上げるという姿勢をとらされて、吊るし上げられている。
她 <b>因为</b> 在门洞里遇上了荀磊，弄得方寸已乱，	帰ってきたとき表門のところで荀磊に出会い、心を乱された。
在英国的学业结束了。同伴们都迫不及待地要坐飞机回国， <b>因为</b> 回去后将有另一场战斗——争取分配到一个可心的下属部门，从事可意的具体工作。	イギリスでの留学生活が終わった。みなわれ勝ちに空路で帰国しようとした。 <b>なぜなら</b> 、帰国したらずで、そこにはまた激しい競争が待ちかまえている <b>から</b> である。自分の希望する部門に入りたい、気に入った仕事をやりたい、誰もがそう考えていた。
也许 <b>因为</b> 心情特别好的缘故吧，她的嗅觉似乎比任何时候都灵敏——	気分爽快だった <b>せいか</b> 、嗅覚がいつもより敏感だった。
薛大娘听她嚷“吃鱼”，便知她算不上有什么病， <b>因为</b> 真要是感冒起来，头一条就厌其烦萎靡。	孫娘が魚を食べたいと言いたすからには、体のほうはたいしたことはない。本当に風邪をひいた <b>のなら</b> 、生臭物が鼻につくはずだ。
可不能 <b>因为</b> 我是媳妇，你是婆婆，就什么都得我干，你在那享受着；	だけどこっちが嫁で、そっちが姑だから <b>って</b> 、なんでもこっちにやらせて、自分のはほんとして知らぬ顔するというのはごめんだわ。みんな平等よ。家事はみんなで手分けしてやるべきだわ
到解放后他干脆下了海， <b>因为</b> 剧团里缺小生，他便又转了小生，	解放後、ひと思いに、アマからプロにきりかえた。劇団に二枚目が少なかった <b>こと</b> から、そっちのほうに役をいをかえた。
虽说一直是给二流丑角配戏，他倒也怡然自得。“文化大革命”中 <b>因为</b> “京剧革命”革掉了小生小噪这个行当，他便在“样板戏”中充当零碎杂角，演个村民甲或匪军丙什么的。	それ以来ずっと二流女優のわき役をつとめてきたが、それでも至極ご満悦の体だった。「文化大革命」が進行する中で「京劇革命」となり、二枚目の役柄も切り捨てられてしまった <b>ので</b> 、「模範劇」の中で、村民甲あるいは敵軍内とかいった端役をやるしかなかった。
///粉碎“四人帮”以后，他又演上了小生， <b>因为</b> 小生演员奇缺，他在团里的地位居然扶摇直上，近来竟有两、三个挑大轴的丑角约他配戏。	///「四人組」が倒れたのち、ふたたび二枚目をやることになった。この役柄のできる俳優が非常に少ない <b>こと</b> から、劇団内における彼の評価はみるみるうちに上がり、近ごろでは、もっぱら最後の演目をやる二、三の主演女優からわき役を請われている。
<b>因为</b> 我爸文化始终提不高，党支部认为是学习不够努力造成的，所以后来也就一直没有发展他入党。	とにかくね、父の教育程度が低いもの <b>だから</b> 、党支部では勉強が足りないとい <b>って</b> 、その後も共産党への加入を受け入れなかったのさ。
“文化大革命”开始以后，有人告诉他，说江青说了，歌剧《白毛女》是毒草，他连惊讶和愤慨都没有， <b>因为</b> 他根本不信。	それで文化大革命がはじまったころ、江青が歌劇の『白毛女』を毒草だときめつけたことを誰かが父に知らせたんだ。父は驚きも怒りもしなかった。てんで信じられないんだよね。
“…我爱我爸， <b>就是因为</b> 他有这么一个稳定的、厚实的人格。…”	「…ぼくは父が好きだよ。安定した、おおらかな、淳朴なその人格が好きだ。父はその人柄でもって、ぼくが善良に純真に育つよにな、しつけてきたんだ…」
那荀师傅脸上皮肤 <b>因为</b> 长年露天作业，近乎酱黑色，	その顔は長い間の戸外作業で赤銅色に焼けているが、
她对荀师傅愈加敬爱， <b>因为</b> 她不断从他身发现出闪光的东西，这闪光的东西又不断照亮着荀磊的形象。	彼女はこの父親をますます尊敬した。その人となりから、彼女はたえずきらめくものを見出していた。そのきらめきはまた荀磊の姿をいつそう輝かしいものにした。
<b>因为</b> 不在“官场”所以没有“宦海浮沉”的戏剧性变化；	「官仕え」でない <b>ので</b> 、“政界の浮き沈み”とかいったドラマチックな変化がない。
<b>因为</b> 不涉“文坛”一类的“名利场”，所以也没有多少荣辱明灭的敏锐感觉；	また「文壇」とかいった“名誉や利益を気にするところ”とも縁がない <b>ので</b> 、そうしたことにもさほど敏感でない。
<b>因为</b> 有鞋的乞丐怕无鞋的乞丐将自己的破鞋穿走，所以一概穿着鞋睡觉。	靴をはいている乞食は、たとえそれがぼろ靴であっても、盗られまいとして、はいたまま寝る。
<b>因为</b> 他骂得有理，骂得痛快，所以天天有人坐成一圈听他叫骂。	だが言い分が通っていて、しかもものしり方が痛快なもの <b>だから</b> 、毎日多くの人が輪になって腰かけ、それを聞いて喜んでいた。
据说当年以“鲜族”（即朝鲜族）妇女的头发最好， <b>因为</b> 他们当时的风俗是妇女不到结婚不剪发	当時は朝鮮族の女性の髪の毛がいいとされていた。そのころ、朝鮮族の女性は、嫁入り前は髪を切らなかつた。
据说那头发要以黑中透黄的才算上品，乌黑的反卖不出价儿， <b>因为</b> 头发越黑则越脆，不坚牢。	話によると、そうした髪の毛というのは、黒髪でも黄味がかった感じのものが上質だとされ、真っ黒なのはあまりいい値で売れない。黒いほど切れやすく、長持ちしないのだそう。
而潘秀娅他们所以总不能由“浅思维”进入“深思维”，说到底还是 <b>因为</b> 文化水平低下。	秀■たちが「浅近思考」から、「深化思考」に移れないのも、結局は教養が低いことによる。
无论作家们的精心结撰还是评论家们的揶揄贬斥，潘秀娅都全然不知， <b>因为</b> 她除了电影杂志，不看别类杂志，而看电影杂志时又主要看图片；	作家たちの力作も知らなければ、評論家たちの論評も知らない。彼女の読む雑誌といったら映画誌だけで、それもグラフしか見ない。店では新聞をとっているが、彼女は映画の広告と漫画しか見ない。
<b>因为</b> 他不爱搭理人，有人判定他狂妄自大，有人认他清高过头，	誰にたいしてもそっけない <b>ので</b> 、傲慢だ、生意気すぎると見られている。
总不能 <b>因为</b> 他们是党员，就提拔他们当站长吧？	いくら党员でも、室長にすえるわけにはいかない。
提出这样的问题并不奇怪， <b>因为</b> 在反映当代社会生活的电视剧里，几乎照例总有那么两、三种类型化的干部——除了“改革派”和“保守派”，往往还少不了“糊涂派”（或叫“和稀泥派”）。	こうした質問は少しも不思議ではない。いまの社会生活をとりあつたテレビドラマに出てくる幹部は、“改革派”でなければ“保守派”、それに“糊塗派”（あるいは“事なかれ派”ともいう）の二通りか、三通りの型しかない。
“我很难冷静地介绍他的观点， <b>因为</b> ，我认为他对西方‘小企业爆炸’的论述，是再偏颇不过的。…”	「その観点について話しますと、ちょっと冷静さを欠くかもしれませんが、 <b>という</b> のは、西欧諸国の“小企業爆発”についての論述は、偏りすぎていると思うんです。…」
<b>因为</b> 院里并没有信箱，邮递员来了，循例在门洞里大喊一声：“信——”（或者“报纸——”）。	四合院には郵便受けがない <b>ので</b> 、郵便配達者が来ると、いつも表門のところで、“ゆうーびん（またはしーんぶーん！）”と声をあげる。
他们都是 <b>因为</b> 家里劳力不够，又遇上旱灾，收成不好，才跑到北京来找工作的。	二人とも、家の働き手が足りず、それに日照りで、作物が悪かった <b>ため</b> 、北京へ職を求めに来たのだ。
最有趣的是横批：“借光二哥”。为什么不写“借光大哥”呢？ <b>因为</b> 都是山东人，忌讳“武大郎”。	面白いのが、その上の横書きの「借光二■」である。なぜ「借光大■」と書かないのか。それは小売りがみな山東省生まれ <b>なので</b> 「武大郎」が忌み嫌われたからだ。
/// <b>因为</b> 这一餐菜肴大部早已是成品和半成品，所以她早上得以“懒起画蛾眉，并收梳洗迟”，并且还有参与薛家迎亲事宜的闲心。	///以上のものはもうできあがっているか、あるいはちょっと手を加える程度までにある。だから、この日曜日、彼女は朝寝坊し、起きてからもゆっくり身仕度をし、しかも薛家の嫁迎えを手伝うゆとりまであったのだ。
<b>因为</b> 她去信时在信封上写下了自己家庭的住址，所以这封寄给“慕英同学”的回信准确无误地到达了她的手中。	封筒にきちんと家の住所を書いておいた <b>ので</b> 、宛名が「慕英様」となったその返事は、まちがいがなく彼女の手許に届いた。
<b>因为</b> 他左眼残缺，右眼视力也不自己，引线穿针常常要重复几十上百次才能成功……	左の目がつぶれ、右の視力もよくないので、針に糸を通すのに難儀をする。
她吃了一惊， <b>因为</b> 她本以为自己不配，绝对不配。	彼女は驚いた。なぜなら、自分は彼にふさわしくない、絶対に不釣りあいだ、と思っていた <b>からだ</b> 。
他是一个经历多次批斗的“走资派”，现在还“挂着”，目前住在附近他大女儿家中， <b>因为</b> 已不能享受医疗上的特殊照顾，也不愿到公费医疗关系的医院露面，所以有了病便抗，	彼はなんとも吊るしあげにあつた「資本主義の道を歩む実権派」だったのだ。問題が完全に解決されたわけではないが、いちおう下火になっている。いま、病院の近くにある上の娘の家に住んでいるが、医療面での特殊な配慮をうけることができ <b>ないので</b> 、指定の病院に行くのをいやがり、病気になるまで、もちこたえられるだけもちこたえる。
对方很是吃惊， <b>因为</b> W 2 票并不是什么不得了了的奇货，而凑齐一套 S 4 4 “菊花”票谈何容易！	相手は驚いた。その切手はたいした珍品ではない。だが、特の“菊の花”を十八枚そろえるのは並たいていではないのだ。
她不收“菊花”票的道理其实很简单， <b>因为</b> 她记得很清楚——他有。	彼女が“菊の花”を断わつた理由は、いたって簡単だった。彼が持っている、とはっきり記憶していた <b>からだ</b> 。
偶尔招呼，他们也并不改变原有的姿势， <b>因为</b> 被招呼者大都比他们辈分小。	ときたまあいさつを交わすことがあつても、もとの姿勢を変えはしない。相手はたいてい年下だった <b>からだ</b> 。



中国語原文	日本語訳文
从文学史上看,多少诗人 <b>因为</b> 结婚形成悲剧啊,……”	文学史からみると、どれだけの詩人が結婚のために悲劇を生んだか。……”
阿泉这绰号的来历,是 <b>因为</b> 其人爱放屁。	「クサイ」のあだ名の由来は、よく屁をひるからである。
<b>因为</b> 碗里堆的东西太多,面汤溢了出来,顺着塑料桌布流下了一道小小的瀑布,	牛肉で中身の増えた丼からつゆがあふれ、ビニールのテーブル掛けを伝って一筋になって流れた。
<b>因为</b> 是错杂而入,所以有的也来不及向大家介绍。	入れかわり立ちかわりに入ってくるので、紹介さえできなかったものもある。
她觉得那种原来爱过、后来不爱了的情况,究竟还比这种境遇好些, <b>因为</b> 心中总还有可供细细咀嚼的甜蜜回忆……	///愛がさめるっていうこともあるけど、それだっていまのわたしよりましだわ。それなりの思い出があって、それにどっぷり浸っていられるんだから……。
一过下午三点,照射到鼓楼东墙根的阳光,便显得格外宝贵, <b>因为</b> 至多还有半个来小时,这冬日的阳光便不再具有暖意了。	午後の三時をすぎるところには、鼓楼の東側の塀沿いに当たる日差しは、ことのほか得難く思われる。あと半時間ほどですと、冬の陽から暖かみが消えていく。
胡爷爷自然是最怕“老爷爷”偏西的一位, <b>因为</b> “老爷爷”一偏西,便是“老人会”的散场,	おてんとさまが西に傾くのを誰よりもいやがる者の一人が胡おじいさんである。おてんとさまが沈むころには、「年寄り会」はお開きになるのだ。
不过,她避免使用直接肯定的词句, <b>因为</b> 她曾经捅过漏子,险些触犯法律。	けれども相手の言うことを直接肯定するようなことは使わないように気をつけた。一度そうしたことで大失敗をやり、すんでのことで法律ざたになるところだったのだ。
讲到一位英雄的牺牲,她 <b>因为</b> 确实感动,哭了起来。	壮烈な最期をとげた英雄について話しているうちに、自分で感きまわって、ぼろぼろ涙を流した。
一九七五年春节前,海西宾糊里糊涂地就高中毕业了, <b>因为</b> 他算独生子女,所以没有上山下乡,而且很快地分到了工作——他被分配到园林局系统,	一九七五年の春節前に、海西賓はなんとなく高校を卒業した。一人っ子ということと、彼は山村や農村に行かされずにすみ、まもなく園林局に配属された。
海老太太接到了信, <b>因为</b> 老眼错花,便请詹丽颖代读。	それを受けとったおばあさんは目がかすんでいるので、詹麗穎に代わって読んでもらった。
“义溜”其实是“一溜儿”的谐音, <b>因为</b> 那胡同狭窄得两个人迎面相遇,必得侧身谦让才能通过,所以人称“一溜儿”。	「義溜」はひとすじという意味の「一■隄」と字音が似ているが、それはこの路地が、人とすれちがうときには体を横にずらせないと通れないほど狭いことに由来している。
<b>因为</b> 它的位置处于僻静的小胡同之中,所以光顾的酒客很少有偶然路过的生人,多是附近的居民或在附近上班的职工,售货员与酒客大半相熟,酒客之间也大半相熟,	この店はひっそりした路地の中にあるので、通りすがりの客はめったになく、ほとんどが附近の住人か、あるいは近くで働いている職工連中だ。
我跟他争也没用, <b>因为</b> 我在他眼里也是轻若鸿毛的——我也还不到三十岁,而且,并非持有正式文凭的大学毕业生,我不过是个‘工农兵学员’而已。”	争ってもむだなんだ。主任から見れば、ぼくなんぞ青二才ですよ。まだ二十歳代だし、それに、ちゃんとした正式の卒業証書をもっている大卒生じゃなくて、『労働兵出身の大学生』なんですからね。
自从女儿被抱走以后,三十多年来音信全无,解放后薛永全也曾试图打探出那家人的去向, <b>因为</b> 中间人“修绶堂”的掌柜早已去世,竟毫无线索可寻。	娘がもられていってから三十数年になるが、それっきりなんの音さもない。解放後、彼はその行方をたずね出そうとしたが、仲立ちをした「修■堂」の主人が死んでしまったので、手づるがすっかり切れてしまった。
<b>因为</b> 他现在是虚披着棉袄,海西宾怕他冻着,便把屋里的炉火捅得旺旺的。	綿入れをひっかけているだけなので、冷えたらいけないと、海西賓は室内のストーブの火を真赤に熾こしていた。
“——就 <b>因为</b> 我爱人要调走,你们就如此冷漠无情!……”	「——主人が転勤しようとしているので冷淡なんですよ!……」
“ <b>因为</b> 詹丽颖的爱人急性胆囊炎发作,可能需要动手术,建议允准詹丽颖及时赴川……”	「詹麗穎の夫が急性胆嚢炎を起こし、手術も考えられるので、彼女がすぐ四川省に来ることを許可していただきたい」
她知道,哪条鱼儿也不能凭借侥幸便顺流而下, <b>因为</b> 还有险滩,有涡流,有钓钩,有网罟……	どんな魚にしたところで、偶然に海に泳ぎ出られるものではない。途中には浅瀬あり、激流あり、釣針もあれば網もあるのだ。
荀磊 <b>因为</b> 陷入了沉思,一时盲目地在商场中转悠起来。	///また考えごとをはじめたものだから、デパートの中をぐるぐるまわっていた。
<b>因为</b> 大家都在微醺状态以上,“酒言无忌”,几句话不合,竟至于满脸赧宋,几乎动起手来。	みんなほろ酔いかげんだから、なんでも口をついて出る。しまいには顔を真っ赤にさせてつかみあいになりそうだった。